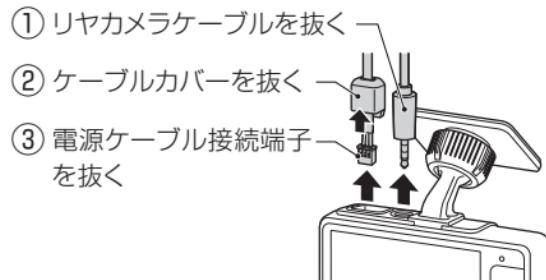


### 取扱説明書

#### 事故が起きたときは…

- !** 周囲の安全を確認してから作業すること。
- 1** メインカメラに接続しているケーブルをすべて抜き、カメラの録画を停止させる。
- !** ケーブルカバーを外してから電源ケーブル接続端子を抜くこと。(73ページ参照)。
- 2** microSDカードを取り出す。



# もくじ

---

はじめに .....	3
安全にお使いいただくために .....	4
各部名称と付属品 .....	11
液晶画面の表示について .....	15
microSD カードについて .....	17
microSD カードの取り出し .....	18
microSD カードの挿入 .....	19
microSD カードのフォーマット（初期化） .....	20
カメラの電源について .....	21
取り付け .....	22
配線概要図 .....	22
ケーブルの接続 .....	23
カメラの初期設定 .....	24
取り付け位置の決定 .....	26
撮影範囲の確認とカメラの角度調節 .....	28
貼り付け .....	32
確認と仕上げ .....	34

<b>撮る</b>	36
ライブモードで撮る	36
駐車監視モードで撮る（別売の駐車監視オプションが必要です）	47
<b>再生と削除</b>	55
カメラ本体で再生する	55
カメラ本体で削除する	58
パソコンで再生する	60
<b>各種設定</b>	66
設定の変更方法	66
カメラのリセット	72
<b>その他</b>	73
事故が起こったときは	73
ファームウェアのアップデート	74
最大記録可能時間（目安）	78
故障かな?と思ったら	79
仕様	83
お問い合わせ	85
品番・品名・ファームウェア	86

# はじめに

## 本書について

このたびは、DC2000R-ABをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本書は、DC2000R-AB（以下、本製品という）をご使用いただくためのガイドブックです。

本製品を正しく安全にご使用いただくために、本書をよくお読みになり、内容を理解されたうえでご使用ください。

本書はお読みになった後も、すぐに取り出せる場所に保管し、ご使用中に分からぬことや不具合やトラブルが起きたときにお役立てください。

最新の取扱説明書は、  
下記のウェブサイトよりご確認いただけます。  
<https://daction.carmate.jp/support>



## 免責事項について

本製品の使用や故障によって生じた損失、および記録された映像やデータの損傷などによる損害については、当社はその責任を一切負いません。あらかじめご了承ください。

# 安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただき、お客様や周りの方、物への被害を防ぐため、必ずお読みください。

## 注意事項の定義

本書の注意事項は、そのレベル、内容ごとにマークを設けています。

各々の定義（意味）を充分に理解されたうえで、お使いください。



誤った取り扱いをすると、死亡や重症などを負う可能性が想定されるもの



誤った取り扱いをすると、法律違反となる可能性が想定されるもの



誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されるもの



取り扱いにおいて知っていると有益な情報

## 安全上お守りいただきたいこと

!  
破損や故障など、異常な状態のまま使用しないこと。発煙、異音、異臭などが発生した場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災の原因となります。

!  
走行前にカメラの取り付け状態を確認すること。脱落、落下などにより、ケガや事故の原因となります。

!  
動作確認のための急発進や急ブレーキは行わないこと。ケガや事故の原因となります。

!  
使用が禁止されている場所では使用しないこと。機器などの誤作動の原因となるおそれがあります。

 電源ケーブルや端子部のほこりや汚れは必ず取り除くこと。接触不良などによる感電や火災の原因となります。

 本製品は防じん、防滴、防水仕様ではありません。水をかけたり、濡れた手で操作したり、異物を入れたりしないこと。感電や火災、故障の原因となります。

 本製品内に結露が生じた場合は、使用しないこと。特に急に温度が変化すると、結露が発生しやすくなり、故障や発熱の原因となります。

 電源リセットボタンを除き、本製品の穴やすき間にピンや針金などの金属を入れないこと。感電や故障の原因となります。

## 取り付けについて

 エアバッグの動作を妨げる場所への取り付けや配線はしないこと。動作したエアバッグによる事故やケガ、またはエアバッグが正常に動作しない場合があります。

 取り付けは、本書に従って正しく行うこと。また、走行時や検査時にカメラ本体をマウントから取り外さないでください。誤った取り付けは道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また事故の原因となります。

 リヤガラスが可動する車両には取り付けないこと。

 運転者は走行中に本製品を操作および注視しないこと。運転者が走行中にカメラなどの画像表示用装置を注視することは、法律で禁止されています。また事故の原因となるので走行中は絶対に操作および注視しないこと。

 本製品は日本国内でのみ使用が認められています。それ以外の国や地域では法律に抵触するおそれがあるので使用しないこと。  
This product is for use only in Japan.

 分解や修理、改造は行わないこと。感電や火災、故障の原因となります。

 カメラの粘着テープは、ガラス面に貼り付けること。

 リヤガラスがプライバシーガラスの場合やフィルムを貼っている場合は、映像が暗くなることがあります。

 ハイマウントストップランプや後続車のライトにより映像が見づらくなることがあります。

 ラジオやカーナビなど、他の電化製品と電波干渉する場合があります。電波干渉した場合はカメラ位置や電源ケーブル、リヤカメラケーブルの取り回しを変更してください。

## 電源について

**⚠ 電源ケーブルのプラグは単独で使用すること。タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。**

**⚠ 電源ケーブルを外す際は、必ずコネクタ部分を持って行うこと。電源ケーブルが損傷すると、感電および火災の原因となります。**

**⚠ DC12V マイナスアース車以外では使用しないこと。故障の原因となります。**

**⚠ 輸入車など一部の車両では、エンジンを停止してもカーソケットに常時電源が供給されるものがあります。その場合は、降車時にカーソケットから電源ケーブルのプラグを抜いてください。**

**⚠ 電源リセットボタンは、カメラを強制的に再起動させること以外は押さないこと。**

**⚠ カメラの起動後、録画の開始まで最大約 15 秒かかります。  
(ただし、カメラ本体が動作温度範囲を超えている場合、さらに時間を要します。)**

**⚠ 一部のアイドリングストップ車では、再始動時の電源を確保するため、供給電圧が低下することがあります。これにより本製品への電源供給が停止する場合があります。**

## カメラについて

- ⚠ 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたまにしないこと。**
- ⚠ 磁石などの磁気を帯びたものを近くに置かないこと。故障やデータ損傷の原因となります。**
- ⚠ ダッシュボードなど温度が急激に上昇する場所に放置しないこと。変形および火災の原因となります。**
- ⚠ 長時間の使用によりカメラ本体が高温になった場合は、直接手で触れないこと。やけどの原因となります。**
- ⚠ お手入れの際、研磨剤入り洗剤、アルコール、有機溶剤入りの洗浄液を使用しないこと。**
- ⚠ レンズや液晶画面に直射日光を長時間当てないこと。レンズや液晶画面が高温になると故障の原因となります。**
- ⚠ 液晶画面を強く押したり、爪やペンなど先の尖ったもので操作したりしないこと。液晶画面やカメラ本体の故障や破損によるケガの原因となります。**
- ⚠ カメラ本体のアップデート中は電源を切らないこと。故障やデータ損傷の原因となります。**
- ⚠ レンズ表面に汚れが付着したときは、纖維くずの出ない乾いたきれいな布で拭き取ってください。**

- ⚠ 本製品は電子部品の特性上、使用条件によりカメラの表面および内部温度が高くなる場合があります。本書（84 ページ）に記載の動作温度範囲を超えた場合、製品保護のため動作を停止します。動作が停止した場合は、カメラが動作温度範囲に戻ってから使用を再開してください。**
- ⚠ 高温の状況では製品保護のため、液晶画面の表示時間が設定した時間よりも短くなることがあります。故障ではありません。**
- ⚠ 液晶画面の特性により、極端な高温や低温の状況では画面の表示の動きが遅くなったり、暗くなったり、残像が見えたりすることがあります。故障ではありません。**
- ⚠ 液晶画面の特性により、画面を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。故障ではありません。**
- ⚠ 液晶画面の特性により、画面に小さな点やスジ状の模様や明るさのムラなどが見えることがあります。故障ではありません。**
- ⚠ 偏光サングラス使用時は、液晶画面の表示が見えなくなることがあります。**
- ⚠ 液晶画面の特性により、一部の画素が点灯しない場合や常時点灯する場合があります。故障ではありません。**

## GPSなどについて

- 【】GPSなどの電波が受信できない場所では、車両の位置や速度を記録することはできません。
- 【】GPSなどの電波は、周囲の状況や地理的要因によって受信しにくい場合や受信できない場合があります。
- 【】GPS衛星はアメリカ国防総省によって管理されており、故意に精度が変更されることなどがあります。
- 【】本製品の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機などを設置しないでください。それらの機器や本製品が誤作動を起こす可能性があります。

- 【】テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- 【】周囲に障害となる物を設置しないでください。GPSなどの電波受信に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 【】カメラの起動後、GPSなどの電波を受信するまでに時間がかかります。受信環境、気象条件、車両条件、製品位置により数十秒から数分かかる場合があります。
- 【】フロントガラスにコーティングなどが施された車両は、GPSなどの電波を受信しにくい場合があります。

## 録画について

- 【】記録した映像やデータは、使用方法によっては他人の法的な権利を侵害する可能性があります。
- 【】本製品で記録した映像やデータの内容、それによって起因した事項については、当社は一切責任を負いません。
- 【】本製品は事故の証拠としての効力およびナンバーや車種、色などの特定を保証するものではありません。
- 【】本製品はすべての状況下における録画を保証するものではありません。

- 【】本製品は車両へのすべての衝撃に対する衝撃録画を保証するものではありません。
- 【】録画性能や記録時間などは被写体や周辺環境などに影響され、変動する場合があります。
- 【】使用状況によっては、他の装備品が本製品の録画の妨げになることがあります。
- 【】車両の電装品などの影響により、本製品で記録した映像や音声にノイズが入ることがあります。

## microSD カードについて

- ⚠** microSD カードは付属品（品番：DCP31）または専用のカード（品番：DC3／4／5）を使用すること。それ以外のカードを使用すると、データ損傷やデータを記録できない場合があります。
- ⚠** 長時間の使用により microSD カードが高温になった場合は、直接手で触れないこと。やけどの原因となります。
- ⚠** 油がついた手や濡れた手で microSD カードに触れないこと。また、microSD カードが静電気の影響を受けないよう、手を除電してから取り扱うこと。データ損傷や故障の原因となります。
- ⚠** カメラの電源が入っているときは、microSD カードの挿入／取り出しあはしないこと。データ損傷や故障の原因となります。
- ⚠** microSD カードはゆっくりと挿入／取り出しをすること。ゆっくり行わないと、データ損傷や故障の原因となります。
- ⚠** microSD カードを鋭利な物で傷を付けたり、強い衝撃を与えること。データ損傷や故障の原因となります。
- ⚠** microSD カードのスロット内に異物を入れたり、端子部分に触れたりしないこと。データ損傷や故障の原因となります。
- ⚠** microSD カードは、必ず正しい向きでカチッと音がするまで差し込むこと。間違った向きで無理に差し込むとデータ損傷や故障の原因となります。

**⚠** Windows以外の機器（Apple社の製品や、Androidのスマートフォンなど）にmicroSDカードを接続した場合は、必要な動画などのデータはパソコンなどにバックアップしたうえで、カメラに戻すこと。Windows以外の機器に接続したmicroSDカードをカメラに差し込むと、フォーマットが必要になる場合があります。フォーマットすると、microSDカード内のデータがすべて消去されます。

**⚠** microSD カードにシールやラベル等を貼らないこと。データ損傷や故障の原因となります。

**💡** 以下の場合、microSD カードをフォーマットしてください。（20 ページ参照）

- microSD カード内のデータをすべて消去したいとき
- カメラからフォーマットを促す通知があったとき

**💡** microSD カードは消耗品です。使用可能期間や書き込み可能回数を超えると記録域の一部が損傷して正常な録画ができなくなることがあります。使用状況や環境により異なりますが、1日2時間程度使用する場合で約1年半を目安に交換することをお勧めします。

**💡** 必要なデータは、必ずパソコンなどにバックアップしてください。microSD カードのデータは上書きや消去されます。

**💡** microSD カードは、清潔な乾燥した涼しい場所で保管してください。

## 駐車監視モードについて

- ⚠ 駐車監視モードによる車両のバッテリー上がり** 駐車監視モードにする場合は、必ず本製品が指定する駐車監視オプションを使用すること。指定外の製品やコードを使用すると、車両のバッテリー上がりや故障の原因となります。指定外の製品やコードは絶対に使用しないこと。
- ⚠ 駐車監視モードによる車両のバッテリー上がり** 駐車監視モードによる車両のバッテリー上がりに関して、当社はその責任を一切負いません。
- ⚠ 夜間の駐車監視時に周囲の明かりがなく光源不足の場合は、録画した映像が不鮮明だったり、録画できないことがあります。** 夜間の駐車監視時に周囲の明かりがなく光源不足の場合は、録画した映像が不鮮明だったり、録画できないことがあります。
- ⚠ 駐車監視モードによる車両のバッテリー上がり** 一部の車種（主に輸入車）では、駐車監視オプションを接続する常時電源線を間違えやすいため、接続後はしばらく様子を見てカメラが正常に作動することを確認してください。間違えて接続すると設定時間よりも早く駐車監視を終了したり、車両のバッテリー上がりの原因となったりする場合があります。
- ⚠ 駐車監視モードによる車両のバッテリー上がり** 駐車監視モード中は、駐車中も車両の電源（バッテリー）を使用するため、車両バッテリーに負荷がかかります。バッテリーが劣化している場合は新品バッテリーへ交換し、充分に充電（走行）したうえでの使用を推奨いたします。新車の場合も充分に充電（走行）したうえでの使用を推奨いたします。

## その他

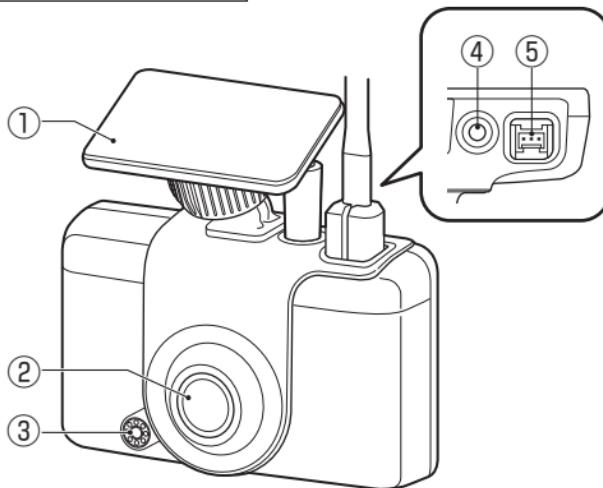
- 🚫 記録した映像やデータは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があつても撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。** 記録した映像やデータは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があつても撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- ⚠ サンシェード等の日除けを使用する際は、フロントガラスとサンシェードの間にカメラを挟み込まないように設置すること。熱がこもり、カメラの故障や脱落の原因となります。** サンシェード等の日除けを使用する際は、フロントガラスとサンシェードの間にカメラを挟み込まないように設置すること。熱がこもり、カメラの故障や脱落の原因となります。
- ⚠ 本製品に貼り付けてあるラベルをはがさないでください。保証を受けるときなど、製品確認の際に必要になる場合があります。** 本製品に貼り付けてあるラベルをはがさないでください。保証を受けるときなど、製品確認の際に必要になる場合があります。

# 各部名称と付属品

使用前に、必ず内容物を確認してください。

## メインカメラ(フロントカメラ)

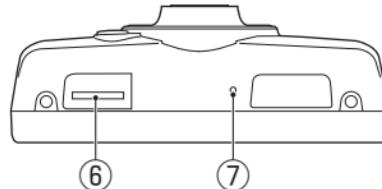
<前面>



## メインカメラ

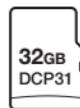
①	メインカメラマウント
②	フロントカメラ
③	スピーカー
④	リヤカメラケーブル用端子
⑤	電源ケーブル用端子
⑥	カードスロット
⑦	電源リセットボタン

<底面>

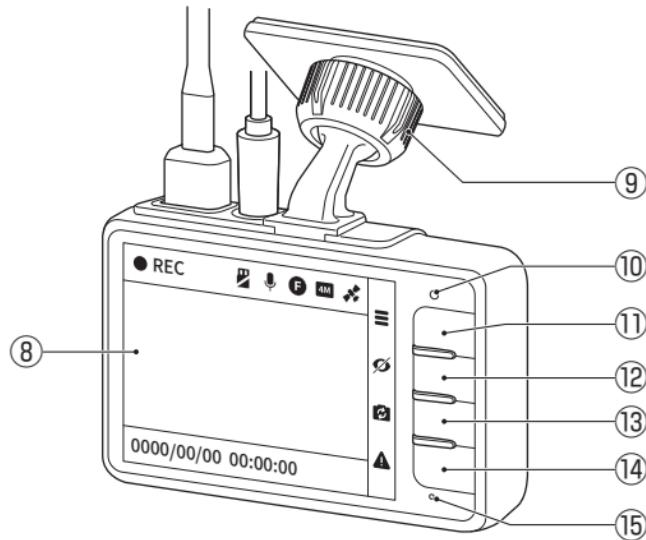


## 32GB microSD カード (品番:DCP31)

microSD カードはメインカメラに  
セットされています。



<背面>

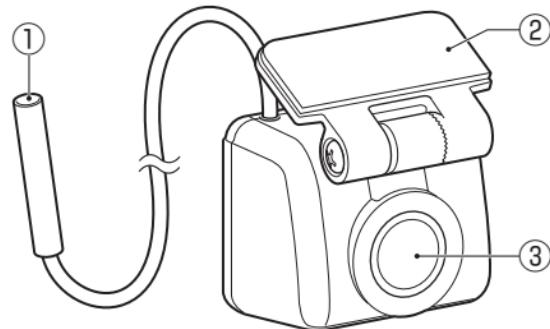


メインカメラ

⑧	液晶画面
⑨	角度調節ネジ
⑩	LED
⑪	ボタン1
⑫	ボタン2
⑬	ボタン3
⑭	ボタン4
⑮	マイク

次のページへつづく

リヤカメラ



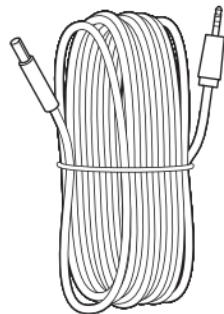
リヤカメラ

①	リヤカメラケーブル中継端子
②	リヤカメラマウント
③	リヤカメラ

電源ケーブル 約3.9m



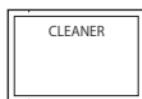
リヤカメラケーブル 約8.5m



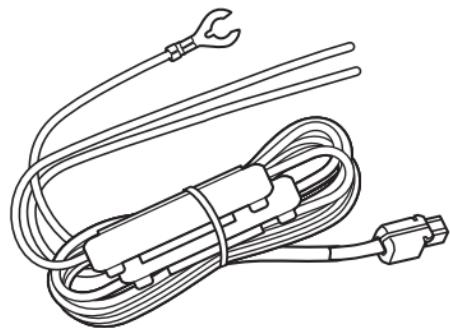
脱脂クリーナー

取扱説明書(本書)

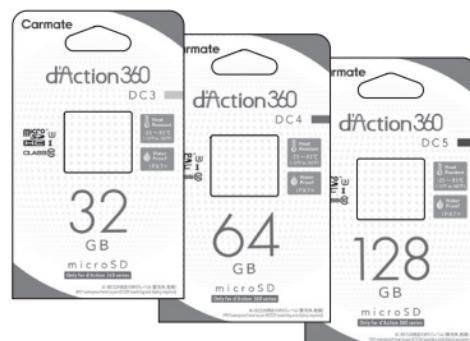
保証書



**オプション** 必要に応じて別途お買い求めください。(2023年9月現在)



DC2000R専用駐車監視オプション  
(品番:DC206)

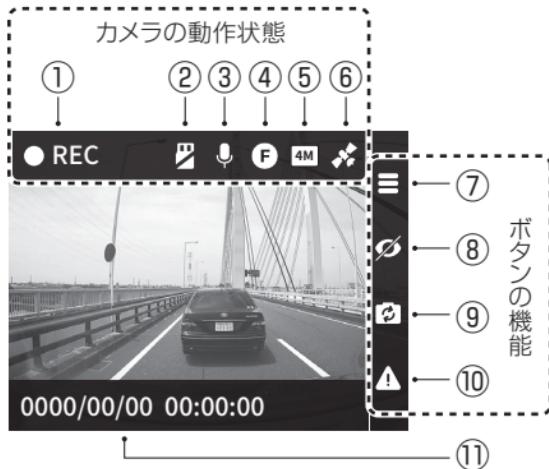


32GB／64GB／128GB microSDカード  
(品番:DC3／4／5)

# 液晶画面の表示について

① カメラの動作状態を画面の上側に表示します。

② 4つのボタンの機能を画面の右側に表示します。ボタンの機能は表示する画面によって異なります。



## 録画画面

①	録画中であることを示しています
②	microSD カードの状態を示しています ■ : 未挿入です ! : エラーです S : 速度が低下しています
③	音声記録を設定していることを示しています
④	表示中の映像を示しています F : フロントカメラの映像 R : リヤカメラの映像 FR : フロントカメラの映像とリヤカメラの映像
⑤	表示中のカメラの録画画質を示しています 4M : 2560 × 1440 (フロントカメラ) FHD : 1920 × 1080 (リヤカメラ) ※ フロントカメラの映像とリヤカメラの映像を同時に表示している場合は「4M」と表示されます。
⑥	GPS の受信状態を示しています 点灯 : 受信しています 点滅 : 受信していません
⑦	メニュー表示確認画面に切り替わります (ボタン 1)
⑧	画面の表示／非表示を切り替えます (ボタン 2)
⑨	表示するカメラ映像を切り替えます (ボタン 3)
⑩	手動録画を開始します (ボタン 4)
⑪	日時



### メニュー表示確認画面

録画画面の状態でボタン 1 を押すと、メニュー表示確認画面に切り替わります。

⑫	選択項目を上に移動します（ボタン 2）
⑬	選択項目を下に移動します（ボタン 3）
⑭	決定します（ボタン 4）



### メニュー画面

メニュー表示確認画面の状態で「はい」を選択すると、メニュー画面に切り替わります。

⑮	前の画面に戻ります（ボタン 1）
⑯	選択項目を上に移動します（ボタン 2）
⑰	選択項目を下に移動します（ボタン 3）
⑱	決定します（ボタン 4）

最上部の項目を選択した状態でボタン 2 を押す（上に移動する）と最下部の項目へ、最下部の項目を選択した状態でボタン 3 を押す（下に移動する）と最上部の項目へ移動します。

# microSD カードについて

9 ページの注意事項もお読みください。

**⚠** カメラの電源が入っているときは、microSDカードの挿入／取り出しあはしないこと。データ損傷や故障の原因となります。カメラの電源を切ってから（21 ページ参照）、挿入／取り出しを行つてください。

**⚠** microSD カードをパソコンに接続した際、データの入れ替え・削除・追加やファイル名の変更はしないこと。microSD カードをカメラに戻したときに、フォーマットが必要になります。

**⚠** Windows 以外の機器（Apple 社の製品や、Android のスマートフォンなど）に microSD カードを接続した場合は、必要な動画などのデータはパソコンなどにバックアップしたうえで、カメラに戻すこと。Windows 以外の機器に接続した microSD カードをカメラに差し込むと、フォーマットが必要になる場合があります。フォーマットすると、microSD カード内のデータがすべて消去されます。

**💡** 本製品は microSD カードメンテナンスフリーのため、新しい microSD カードをカメラにセットした場合にフォーマットが必要です。

**💡** 本製品を使用するときは、microSD カードが必要です。

**💡** メインカメラにセットされている microSD カードは本製品専用です。

**💡** 以下の場合、microSD カードをフォーマットしてください。（20 ページ参照）

- microSD カード内のデータをすべて消去したいとき
- カメラからフォーマットを促す通知があったとき

**💡** microSD カードは消耗品です。使用可能期間や書き込み可能回数を超えると記録域の一部が損傷して正常な録画ができなくなることがあります。使用状況や環境により異なりますが、1 日 2 時間程度使用する場合で約 1 年半を目安に交換することをお勧めします。書き込み速度の低下など、microSD カードの寿命による不具合が発生すると、カメラからフォーマットやカードの交換を促す通知があります。

**💡** 必要なデータは、必ずパソコンなどにバックアップしてください。microSD カードのデータは上書きや消去されます。

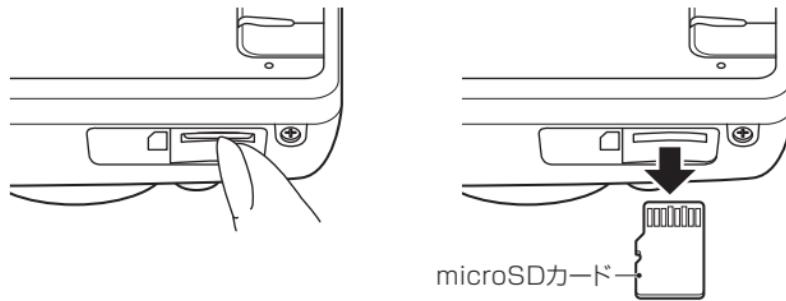
 出荷時はあらかじめ microSD カードがセットされています。

## microSD カードの取り出し

- 1 カメラの電源が切れていることを確認する。

 カメラの電源が入っているときは、電源を切ること。(21 ページ参照)

- 2 microSD カードを「カチッ」と音がするまで押し、少し飛び出してきたら引き抜く。



## microSD カードの挿入

### 1 カメラの電源が切れていることを確認する。

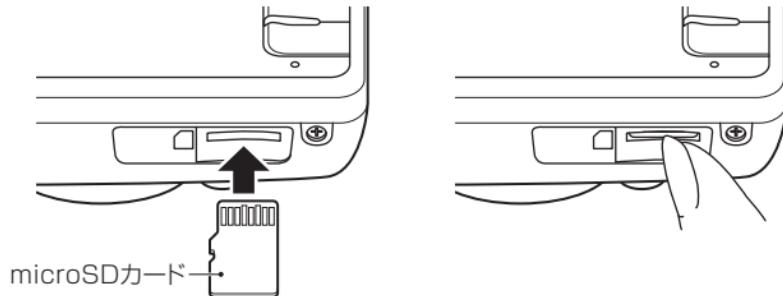


カメラの電源が入っているときは、電源を切ること。(21 ページ参照)

### 2 microSD カードを「カチッ」と音がするまで差し込む。



金色の端子面を本体液晶画面側にして真っすぐに差し込んでください。



# microSD カードのフォーマット（初期化）

microSD カード内のファイルをすべて消去し、フォルダ構成を最適化します。

**⚠** microSD カードをフォーマットすると、すべてのファイルが消去されます。必要なデータは、あらかじめパソコンなどにバックアップしてください。

## 1 メニュー画面を表示する。

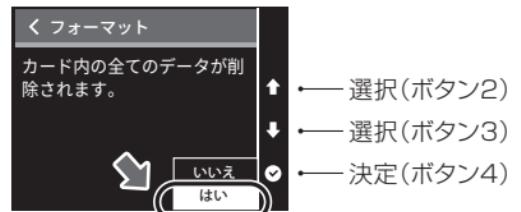
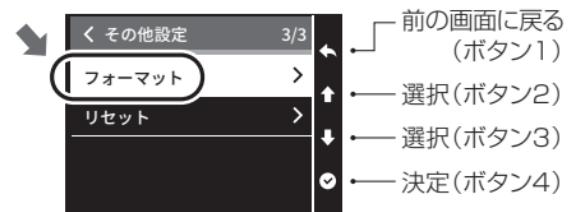
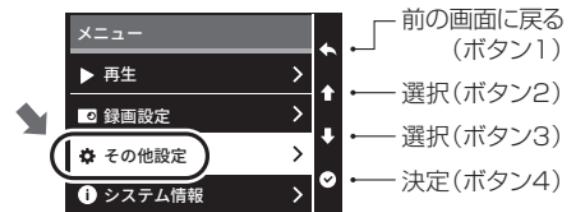
**電卓** 録画中の場合は 16 ページを参照してメニュー画面に切り替えてください。

## 2 ボタン 2 / ボタン 3 で「その他設定」を選択し、ボタン 4 で決定する。

## 3 ボタン 2 / ボタン 3 で「フォーマット」を選択し、ボタン 4 で決定する。

## 4 ボタン 2 / ボタン 3 で「はい」を選択し、ボタン 4 で実行する。

**電卓** フォーマットが完了すると完了画面が表示されます。ボタン 4 で「OK」を選択すると、メニュー画面に戻ります。

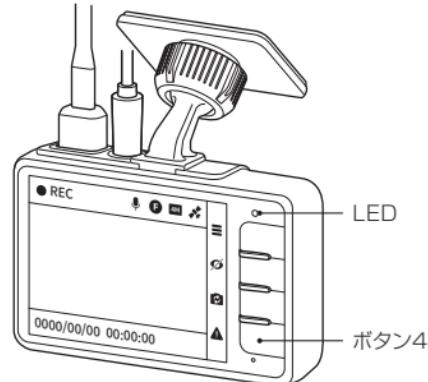


# カメラの電源について

**【】** カメラの電源が入ると LED が点灯し液晶画面が表示されます。  
カメラの電源が切れると LED が消灯し液晶画面が消えます。

## 電源ケーブルを使用している場合

- カメラの電源を入れる／切る方法はⒶⒷⒸの3通りあります。
  - Ⓐ車両のキースイッチを ON にするとカメラの電源が入り、キースイッチを OFF にするとカメラの電源が切れます。
  - Ⓑ車両のキースイッチが ON のときに、ボタン 4 を約 5 秒間長押しするとカメラの電源が切れ、再度ボタン 4 を押すとカメラの電源が入ります。
  - Ⓒ車両のキースイッチが ON のときに、カーソケットから電源ケーブルのプラグを抜くとカメラの電源が切れ、プラグを差し込むとカメラの電源が入ります。



## 駐車監視オプションを取り付け、設定を有効にしている場合

- 車両のキースイッチが ON のときに、ボタン 4 を約 5 秒間長押しするとカメラの電源が切れ、再度ボタン 4 を押すとカメラの電源が入ります。
- 車両のキースイッチを OFF にすると、駐車監視モードに切り替わるため液晶画面は消えますが、カメラの電源は切れません（LED は点灯しています）。駐車監視モード中にカメラの電源を切る場合は、ボタン 4 を約 5 秒間長押ししてください。

**【】** 駐車監視モード中にボタン 4 を長押ししてカメラの電源を切った場合、再度ボタン 4 を押しても駐車監視モードは再開されません。再開させる場合は、車両のキースイッチを ON にしてから再度 OFF にしてください。

# 取り付け

## 配線概要図



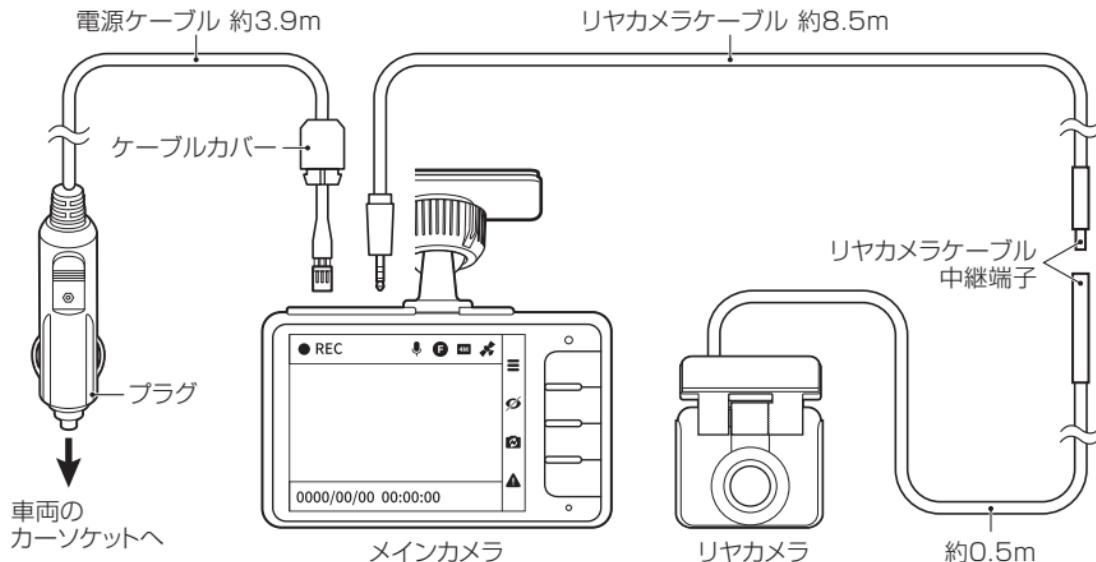
取り付けの際は、必ず本製品の付属品またはオプション品を使用すること。



駐車監視オプションを取り付ける場合は、電源ケーブルは使用しません。



リヤカメラを使用しない場合は、「録画設定」で「リヤカメラ」を無効にしてください。(68 ページ参照)

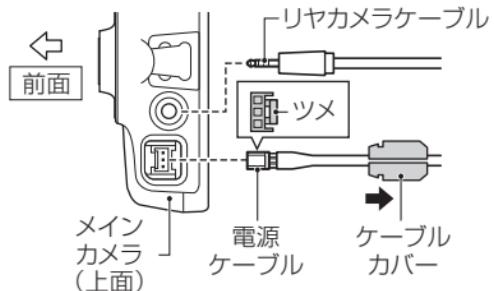


# ケーブルの接続

## 1 メインカメラに電源ケーブルとリヤカメラケーブルを差し込む。

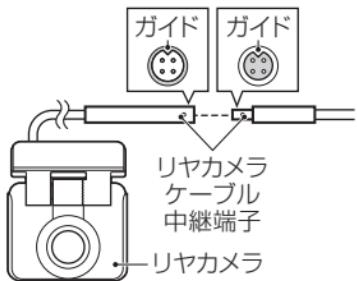
**【注意】** 電源ケーブル接続時は、先端のケーブルカバーをずらしてください。ケーブルカバーの差し込みは最後に行います。

**【注意】** 電源ケーブルは端子の根元を持ち、ツメが固定されるまでまっすぐ押し込んでください。



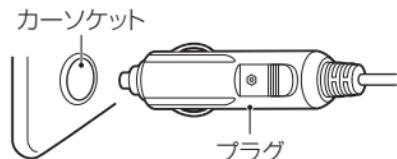
## 2 リヤカメラケーブルの中継端子どうしを接続する。

**【注意】** ガイドの位置を合わせて接続してください。



## 3 電源ケーブルのプラグをカーソケットに差し込み、車両のキースイッチを ON にする。

**【注意】** カメラの電源が入ると LED が点灯し、液晶画面が表示されます。



# カメラの初期設定

【】初めて使用する場合、もしくはリセットを行った場合に初期設定画面が表示されます。

【】カメラの設定は GPS などの電波を受信しやすい屋外などで行ってください。

- 1** ボタン 2 / ボタン 3 で使用する言語を選び、ボタン 4 で決定する。



- 2** ボタン 2 / ボタン 3 で「アジア」、「日本」をそれぞれ選び、ボタン 4 で決定する。

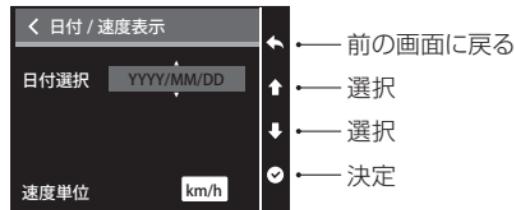
【】GPS などの電波を受信すると日時も自動的に設定されます。

【】DST とはサマータイム（夏時間）のことです。日本では不要な設定のため、変更できません。



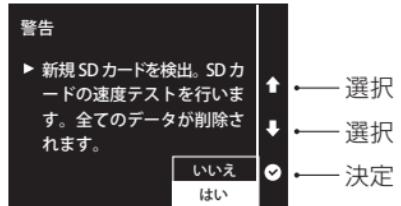
- 3** ボタン 2 / ボタン 3 で年月日の表示順と速度単位をそれぞれ選び、ボタン 4 で決定する。

【】Y は年、M は月、D は日を意味します。



次のページへつづく

- 4** 新規 SD カード検出の通知が表示されるので、ボタン 2 / ボタン 3 で「はい」を選択し、ボタン 4 で実行する。



 フォーマットが正常に完了すると「操作完了」と表示され、常時録画を開始します。

 録画状態のまま、取り付け作業を進めてください。

 駐車監視オプションを取り付けている場合は、車両のキースイッチを ON にして常時録画を開始した状態で取り付け作業を進めてください。



# 取り付け位置の決定

## 1 取り付け位置にメインカメラとリヤカメラをあてがい、ケーブル類の取り回しを確認する。

⚠ この段階ではマウントの粘着テープは貼り付けないでください。

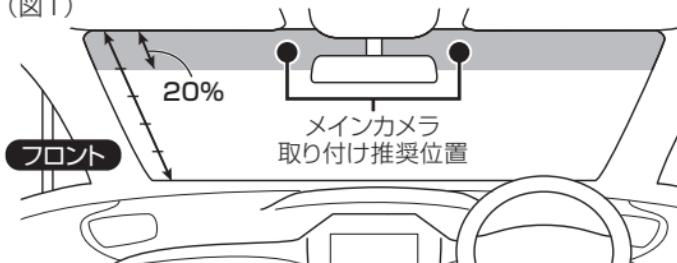
🚫 取り付け位置の条件を満たしていないと道路運送車両法の保安基準に違反するおそれがあります。必ず条件を満たす位置に取り付けること。

### 取り付け位置の条件と注意

- メインカメラマウントの取り付け位置は、フロントガラスの上部 20% の範囲内に入ること。(27 ページ 図 1)
- 運転時の視界や操作を妨げないこと。
- ルームミラーやエアバッグの動作を妨げないこと。
- カメラのレンズがワイパーの拭き取り範囲内に入ること。
- ガラスにプリントされている熱線やアンテナ、センターバイザー（黒いドット）などにマウントの貼り付け面が重ならないこと。
- 安全運転支援システムなどのカメラを装着している場合は、その映像範囲内に本製品が映りこまないこと。
- フロントガラスと GPS アンテナの間にケーブルや金属物がないこと。(27 ページ 図 2 の斜線部)
- 安全運転支援システムなどを装着している場合は、それらの取扱説明書に従うこと。
- リヤカメラの角度を調節するときに、プラスドライバーが車両の内装と干渉しないこと。(27 ページ 図 3)
- 「後方接近警告」「停車時後方接近警告」(38 ページ参照) を有効にする場合は、リヤカメラの高さが地上から 100 ~ 200cm の範囲かつ、車両の中央に取り付けること。(27 ページ 図 4)



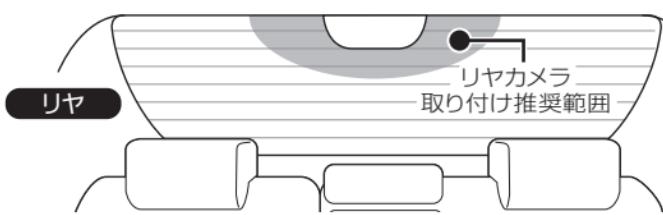
(図1)



(図2)



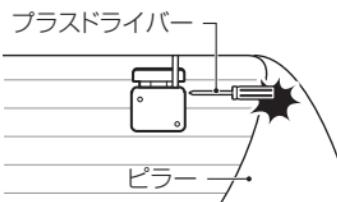
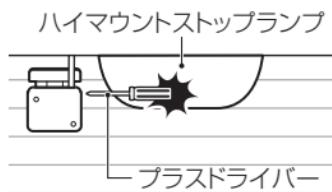
(リヤ)



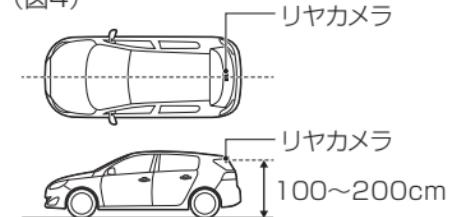
リヤカメラ  
マウント



(図3)



(図4)

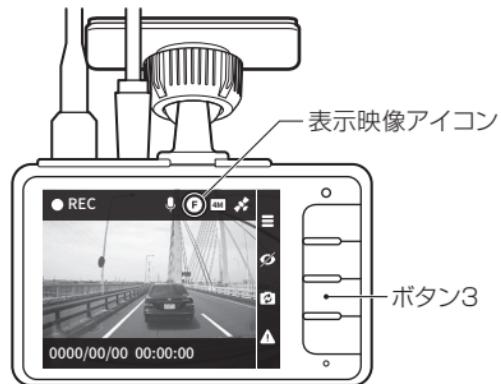


## 撮影範囲の確認とカメラの角度調節

1 メインカメラとリヤカメラをそれぞれの取り付け位置にあてがい、ボタン3で映像を切り替えて撮影範囲を確認する。

【参考】 映像が切り替わると表示中の映像を示すアイコンも切り替わります。

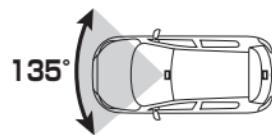
【参考】 液晶画面に表示されるフロントカメラの映像は、実際の記録映像の左右を一部カットしています。



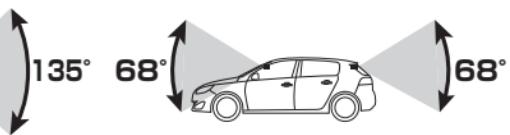
### フロントカメラの撮影範囲

水平 135°、垂直 68°です。

### 水平方向



### 垂直方向



### リヤカメラの撮影範囲

水平 135°、垂直 68°です。

次のページへつづく

アイコンが **F** のときは  
フロントカメラの映像を表示します。



アイコンが **FR** のときはフロント  
カメラの映像を大きく、リヤカメラ  
の映像を小さく表示します。

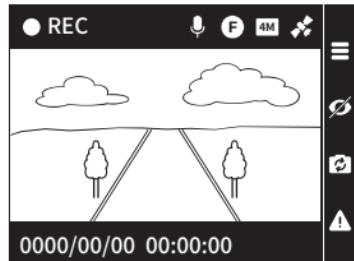


アイコンが **R** のときは  
リヤカメラの映像を表示します。



## <フロントカメラの確認ポイント>

▼不適切な角度：上を向きすぎていて  
前方車両が映っていない



● REC



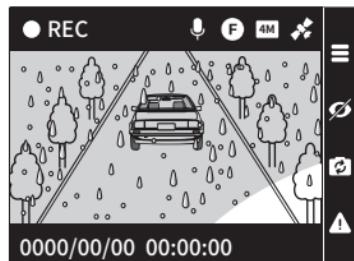
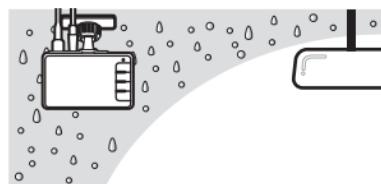
4M



0000/00/00 00:00:00



▼不適切な取り付け位置：ワイパーの  
拭き取り範囲外



● REC



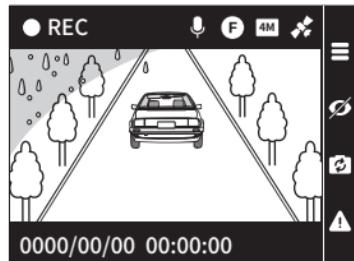
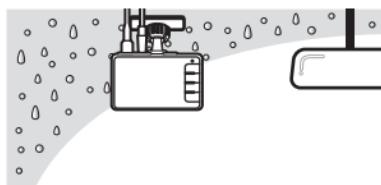
4M



0000/00/00 00:00:00



▼適切な取り付け位置：ワイパーの拭  
き取り範囲内で前方車両が映っている



● REC



4M



0000/00/00 00:00:00

次のページへつづく



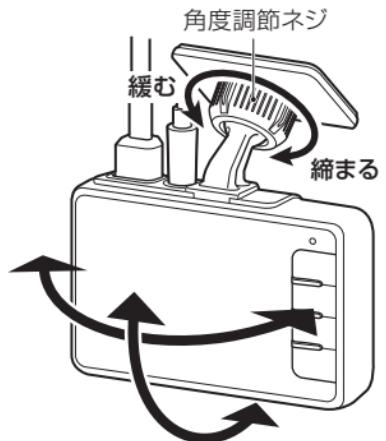
## 2 撮影範囲に合わせてカメラの角度を調節する。

### メインカメラの角度調節

角度調節ネジを緩めて角度を調節し、角度調節ネジを締めてください。



メインカメラマウントの角度調節ネジが緩んでいると、カメラの操作や衝撃などで角度が変わるものがあります。定期的に緩みがないことを確認してください。また、ボタンを押す際などはカメラに手を添えて操作し、角度が変わらないようにしてください。



### リヤカメラの角度調節

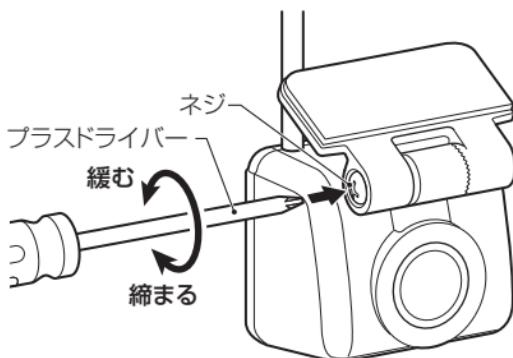
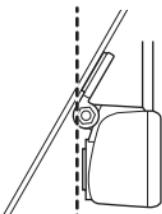
プラスドライバーで付け根部分のネジを緩めて角度を調節し、ネジを締めてください。



リヤカメラのネジはリヤゲートの開閉の衝撃などにより緩む場合があります。定期的に緩みがないことを確認してください。



「後方接近警告」「停車時後方接近警告」(38ページ参照)を有効にする場合は、リヤカメラのレンズができるだけ垂直になるよう調節してください。

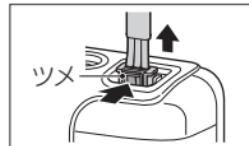


## 貼り付け

**1** 車両のキースイッチを OFF にしてカメラの電源を切る。

**2** メインカメラから電源ケーブルとリヤカメラケーブルを取り外す。

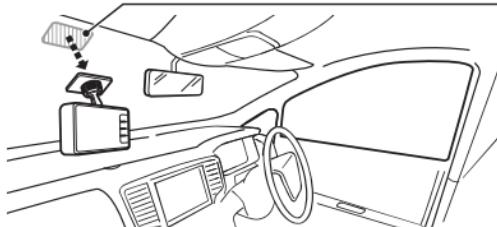
⚠ 電源ケーブルを外すときは、端子のツメをつまみながら引き抜いてください。



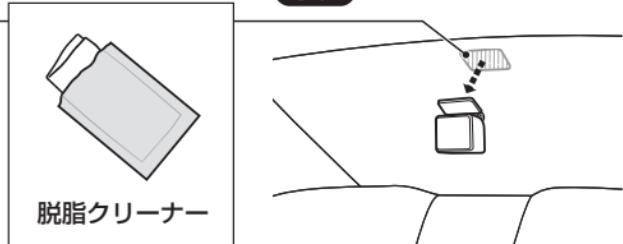
**3** リヤカメラケーブルの中継端子を外す。

**4** 付属の脱脂クリーナーで取り付け位置の汚れや油分をよく拭き取り、乾燥させる。

フロント



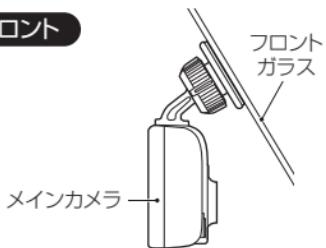
リヤ



脱脂クリーナー

## 5 メインカメラとリヤカメラをそれぞれの取り付け位置にしっかりと貼り付ける。

フロント



▼誤った貼り付け例：  
圧着ムラや気泡が  
入っている



▼正しい貼り付け例：  
均一に密着している



リヤ



▼誤った貼り付け例：  
粘着テープが熱線  
に重なっている



▼正しい貼り付け例：  
粘着テープが熱線  
に重なっていない



熱線やアンテナ、センターバイザー（黒いドット）などと粘着テープが重ならないように注意すること。



粘着テープの圧着ムラや気泡がなくなるように強く押し付けて密着させること。



粘着力を安定させるため 24 時間以上放置してください。なお、粘着力が低下するため貼り直しはできません。貼り直す際は新たにマウントを購入してください。（85 ページ参照）

## 確認と仕上げ

- 1** メインカメラに電源ケーブルとリヤカメラケーブルを差し込む。
- 2** リヤカメラケーブルの中継端子どうしを接続し、車両のキースイッチを ON にする。
- 3** 撮影範囲を再確認し、必要に応じてカメラの角度を調節する。(28 ~ 31 ページ参照)

**【注意】** 作業中にカメラレンズに触れた場合は纖維くずの出ない乾いたきれいな布で拭き、汚れなどが映りこんでいないことを確認してください。

- 4** 車両のキースイッチを OFF にして、メインカメラから電源ケーブルとリヤカメラケーブルを取り外す。
- 5** 市販の配線止め金具や結束バンド等を使用し、ケーブルの取り回しを処理する。

**!** ケーブルのコネクタ部に無理な力がかかるないように処理すること。



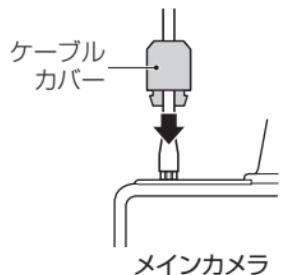
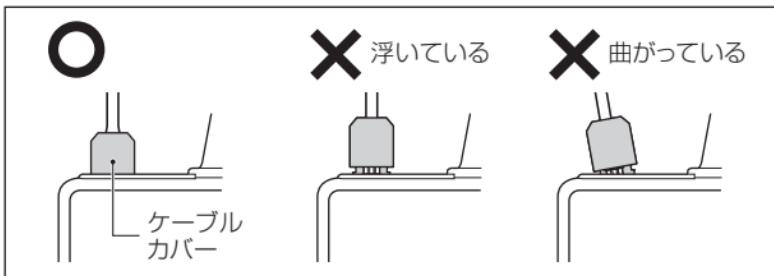
**!** 運転時の視界や操作の妨げにならないように処理すること。

**!** ドアやリヤゲートの開閉などでケーブルを挟まないように処理すること。

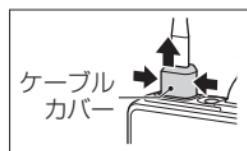
**【参考】** リヤカメラケーブルはフロント側から取り回すと処理作業がスムーズに行えます。

**!** ケーブルは梱包状態からほどいて伸ばし、ねじれを取ってから取り回し処理をすること。ねじれた状態で処理すると、断線するおそれがあります。

## 6 メインカメラに電源ケーブルを差し込み、ケーブルカバーを被せて押し込む。



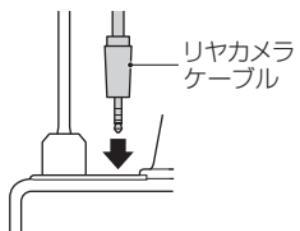
**POINT** ケーブルカバーを外すときは、左右からつまみながら引き抜いてください。



**POINT** 最初にリヤカメラケーブルを抜いておくと、ケーブルカバーを左右からつまみやすくなります。

## 7 メインカメラにリヤカメラケーブルを差し込む。

**⚠** リヤカメラケーブルはまっすぐ差し込むこと。  
斜め方向から無理に差し込むと、故障の原因となります。



# 撮る

本製品には「ドライブモード」と「駐車監視モード」があります。

## ドライブモードで撮る

車両のキースイッチが ON の状態で録画するモードです。

**【】** 事前に録画の目的や使用方法に合わせて設定を変更することをお勧めします。  
(66 ~ 68、70 ~ 71 ページ参照)

### 1 車両のキースイッチを ON にする。

**【】** カメラが起動してから最大 15 秒後に常時録画を開始します。カメラ本体が動作温度範囲を超える場合は、録画開始まで時間がかかる場合があります。

### 2 撮る（自動で録画を開始します）。

**【】** 録画したデータは内容に合わせてそれぞれの録画種別に自動的に振り分けて保存されます。

**【】** 録画種別ごとの記録可能時間を超えると古いデータから順に上書きされます。

### 3 車両のキースイッチを OFF にする。

**【】** 録画を終了し、カメラの電源が切れます。

## ドライブモード時の録画の種類

録画モード	録画の種類	内 容 (42 ~ 46 ページ参照)	使用カメラ	録画種別 (55 ページ参照)	
ドライブ モード	常時録画	カメラの電源が入ってから切れるまでの約 30 秒ごとの映像	フロントカメラ + リヤカメラ	常時録画	
	衝撃録画	衝撃検知前 10 秒と検知後 10 秒を含む約 30 秒ごとの映像		イベント録画	
	手動録画	手動録画の指示前 30 秒と指示後 30 秒を含む約 30 秒ごとの映像			
	後方接近警告録画	接近の検知前 10 秒と検知後 10 秒を含む約 30 秒ごとの映像	リヤカメラ		
	停車時後方接近 警告録画				

 録画種別ごとの記録可能時間を超えると、古いデータから順に上書きされます。

### ●衝撃録画とは

カメラの G センサーが衝撃を検知したときの映像。衝突事故など強い衝撃があったときのシーンを常時録画とは分けて記録します。

### ●手動録画とは

手動で録画を指示した映像。常時録画や衝撃録画とは分けて記録します。衝撃がない場合でも手動録画しておくと、再生時に録画したデータを探しやすくなります。

## ●後方接近警告録画／停車時後方接近警告録画とは

走行時や停車時に危険な後方接近を検知したときの映像。後方から接近してくる車両をリヤカメラの画像認識によって検知し、警告通知と録画を行います。

 GPSなどの電波を受信できない場所や、カメラのメニューでGPSの設定を無効にした場合は、検知できません。(66、71ページ参照)

 後方車両の形状や、天候・時間帯、リヤガラスの汚れなど、条件によっては検知しない場合があります。

 初期設定では「後方接近警告」「停車時後方接近警告」の設定が無効になっています。録画を行う場合は各設定を有効にしてください。(66～67ページ参照)

 「後方接近警告」を有効にした場合は、下記事項を理解されたうえで検知エリア設定を行い、ご使用ください。

●頻繁に後方接近警告録画を行うと、イベント録画種別の衝撃録画や手動録画などの重要なデータが上書きされる可能性があります。必要に応じて、検知エリアの奥行きを調整してください。(41ページ参照)。

 「停車時後方接近警告」を有効にした場合は、下記事項を理解されたうえでご使用ください。

●駐車場などで後ろ向きで駐車する際に、後方の車両を検知する場合があります。(後方の車両の向きに関わらず、検知することができます。)

●大型車が後方から接近してきた場合、普通車より離れた位置でも検知することができます。

●頻繁に停車時後方接近警告録画を行うと、イベント録画種別の衝撃録画や手動録画などの重要なデータが上書きされる可能性があります。

## ●検知エリア設定のしかた

リヤカメラを車両の中央に取り付けた場合（26、27 ページ参照）は、左右設定の調整は不要です。

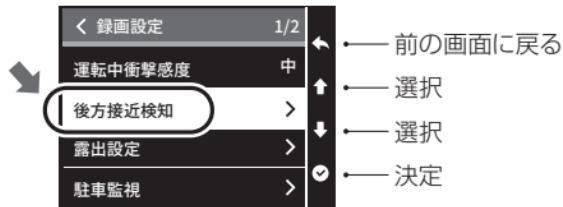
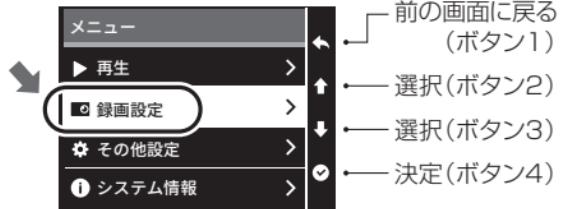
検知エリアの設定は、安全な場所で行ってください。運転者は走行中に操作しないでください。

### 1 メニュー画面を表示する。

録画中の場合は 16 ページを参照してメニュー画面に切り替えてください。

### 2 ボタン 2／ボタン 3 で「録画設定」を選択し、ボタン 4 で決定する。

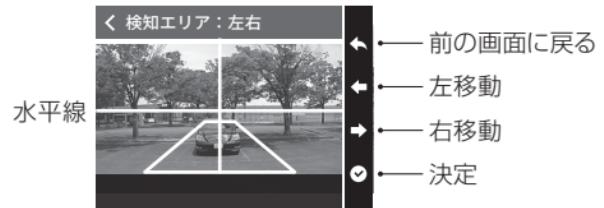
### 3 ボタン 2／ボタン 3 で「後方接近検知」を選択し、ボタン 4 で決定する。



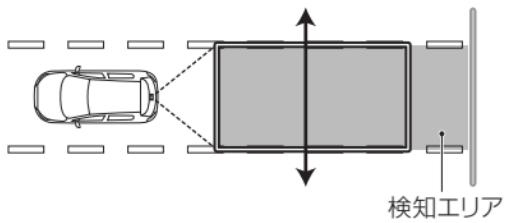
## 4 ボタン2／ボタン3で「検知エリア設定」を選択し、ボタン4で決定する。

### 検知エリア：左右

ボタン2／ボタン3を押して左右の検知位置を調整します。  
ボタン4を押すと設定が決定されます。



水平線



▼ 検知エリアを示す枠線の左右が、自車の車線と合うように調整してください。

▼ 画面中央の水平線が地平線よりも上側または下側にずれている場合は、リヤカメラの角度を調整（31ページ参照）し、地平線に合わせてください。

▼ リヤカメラが上を向いている



▼ 枠線の左右が自車の車線と合っていない



▼ 枠線の左右が自車の車線と合っている



次のページへつづく

## 検知エリア：奥行

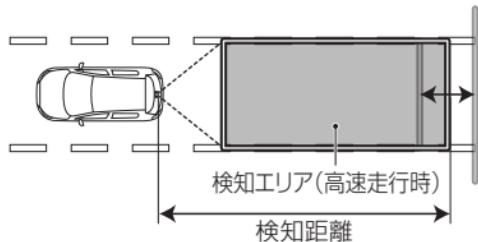
ボタン2／ボタン3を押して高速走行時の奥行きの検知位置を調整します。  
ボタン4を押すと設定が決定されます。



**【質問】** 検知エリアを示す枠線の中に入った車両を検知します。高速（約100km/h）で走行中に、後方車両がどの距離まで接近したら検知するかを設定してください。低～中速走行時の検知エリアは自動的に調整されます。

**【質問】** 検知する奥行き（検知距離）は「最高」に設定すると長くなり、「最低」に設定すると短くなります。

**【質問】** リヤガラスから車両後端までの距離が長いセダンやトラックなどに取り付けた場合は、検知しづらいことがあります。



**検知距離の目安**（約100km/hで走行中の場合）

検知感度	最高	高	中	低	最低
検知距離の目安	約30m	約20m	約11m	約8m	約6m

**【質問】** 数値は参考です。車両形状やリヤカメラの取付位置・角度など、条件によって異なります。

**!** 動作確認のために車両を接近させたり、急ブレーキをしたりしないこと。ケガや事故の原因となります。

 リヤカメラのレンズが上向きになる車種（リヤガラスの傾斜が地面と水平に近い車種など）では、遠くの車両でも検知することがあります。その場合、まず検知感度を「最低」に設定のうえ、調整してください。

▼遠くの車両を検知する場合



▼遠くの車両を検知しない場合



### 常時録画

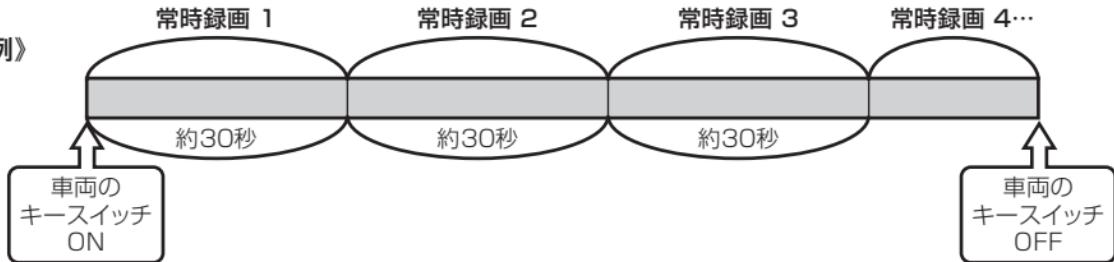
- カメラの電源が入ってから切れるまでの映像を約30秒ごとに記録します。

### 常時録画中



- メニュー
- 画面表示／非表示
- 画面切り替え
- ▲ 手動録画

### 《例》



次のページへつづく

## 衝撃録画

- 常時録画中に衝撃を検知すると、画面と音声で通知し、検知前10秒と検知後10秒を含む約30秒ごとの映像を最大で2つ記録します。
- 衝撃録画中は画面左下に赤色のアイコンが表示され、衝撃録画後は自動で常時録画に戻ります。

■ 車両や運転の状況に合わせてGセンサーの感度を設定できます。(66~67ページ参照)

■ 本製品は車両へのすべての衝撃に対する衝撃録画を保証するものではありません。

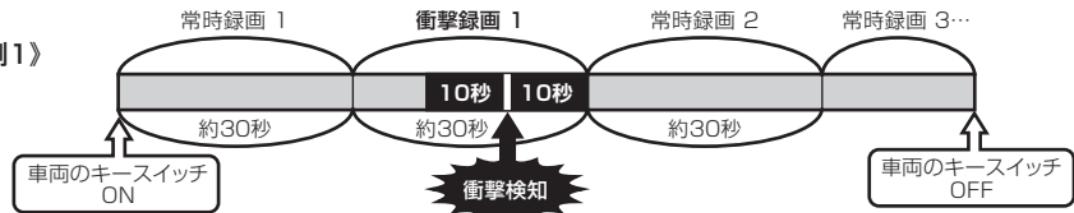
## 通知画面



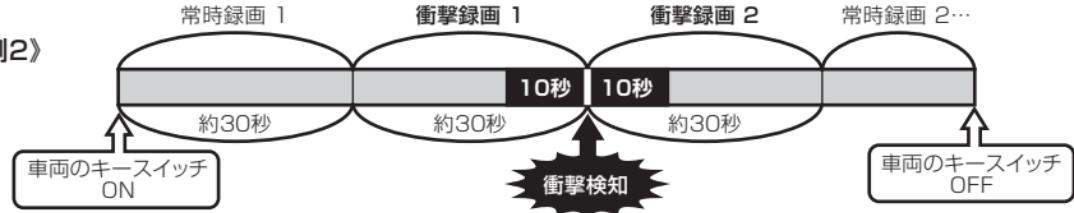
## 衝撃録画中



### 《例1》



### 《例2》



## 手動録画

- 常時録画中にボタン4を押すと、手動録画の指示前30秒と指示後30秒を含む30秒ごとの映像を最大で3つ記録します。
- 手動録画中は画面左下に赤色のアイコンが表示され、手動録画後は自動で常時録画に戻ります。

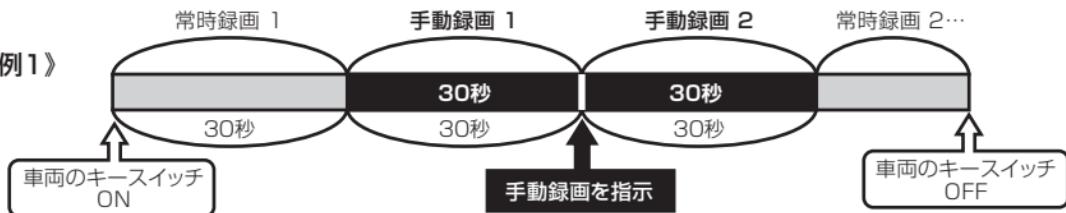
## 常時録画中



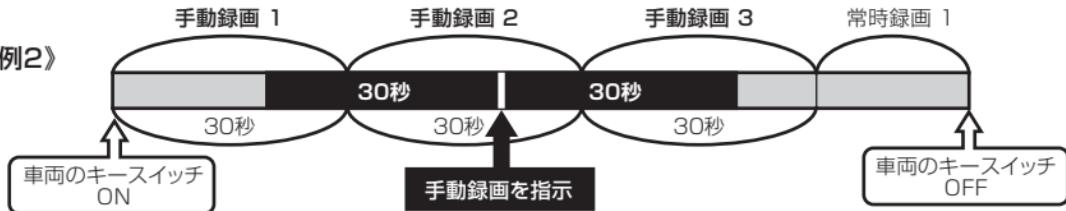
## 手動録画中



《例1》



《例2》



次のページへつづく

## 後方接近警告録画

- 常時録画中の走行時に後方から接近してくる車両を検知すると、画面と音声で通知し、検知前 10 秒と検知後の 10 秒を含む約 30 秒ごとの映像を最大で 2 つ記録します。

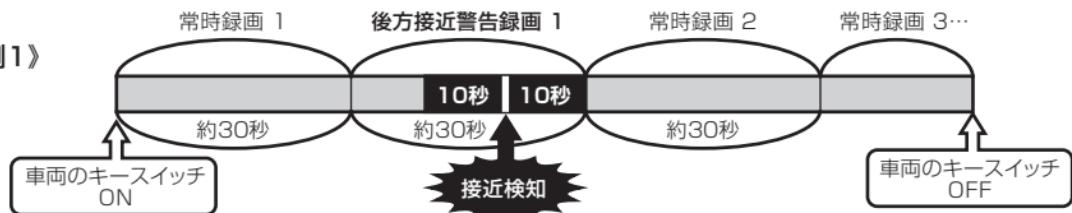
- 後方接近警告録画中は画面左下に赤色のアイコンが表示され、後方接近警告録画後は自動で常時録画に戻ります。

**【】** 本製品は車両へのすべての後方接近に対する録画を保証するものではありません。

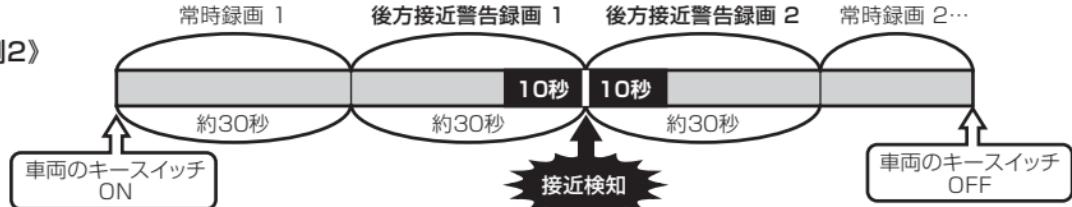
**【】** 検知した際に録画（後方接近警告録画）を行わず、警告（画面と音声の通知）のみを行う設定にすることもできます。（67 ページ参照）



《例1》



《例2》



## 停車時後方接近警告録画

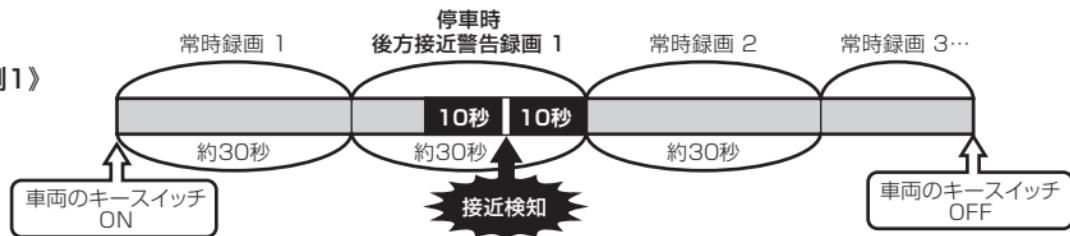
- 常時録画中の停車時に後方から接近てくる車両を検知すると、画面と音声で通知し、検知前10秒と検知後の10秒を含む約30秒ごとの映像を最大で2つ記録します。
- 停車時後方接近警告録画中は画面左下に赤色のアイコンが表示され、停車時後方接近警告録画後は自動で常時録画に戻ります。

**【】** 本製品は車両へのすべての停車時後方接近に対する録画を保証するものではありません。

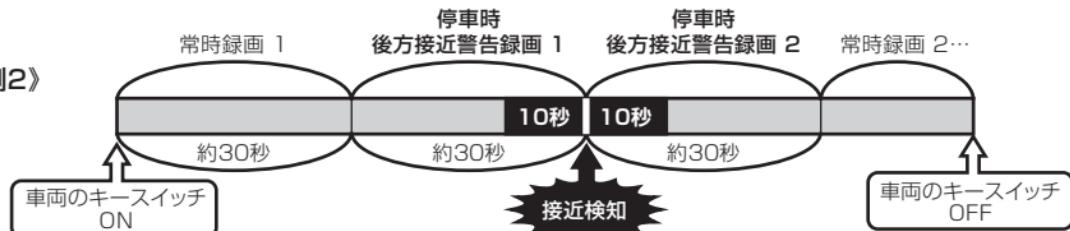
**【】** 検知した際に録画（停車時後方接近警告録画）を行わず、警告（画面と音声の通知）のみを行う設定にすることもできます。（67ページ参照）



《例1》



《例2》



# 駐車監視モードで撮る（別売の駐車監視オプションが必要です）

車両のキースイッチが OFF の状態で録画するモードです。

【】 設定で「駐車監視」を有効にしておく必要があります。（66、69 ページ参照）

【】 駐車監視の目的や使用方法に合わせて事前に設定を変更することをお勧めします。  
(49 ~ 52、66、69 ページ参照)

## 1 車両のキースイッチを OFF にする。

【】 LED が点滅し、約 1 分後（降車時非起動時間の初期設定）に駐車監視を開始します。

【】 駐車監視モード中は液晶画面は消えますがカメラの電源は切れません（LED は点灯しています）。

【】 設定で「駐車監視」を無効にしている場合は、車両のキースイッチを OFF にしてから約 10 分以内にボタン 4 を押すと駐車監視を開始できます。（ワンタッチ駐車監視スタート機能）

### ●ワンタッチ駐車監視スタート機能とは

設定で「駐車監視」を無効にしている場合であっても、必要なときだけ駐車監視する機能です。

【】 ワンタッチ駐車監視スタート機能では、「駐車監視」設定は有効に切り替わりません。  
車両のキースイッチを OFF にするたびにボタン 4 を押す必要があります。

## 2 駐車監視中

【】 録画したデータは駐車録画種別として保存されます。

【】 駐車録画種別の記録可能時間を超えると、古いデータから順に上書きされます。

### 3 駐車監視モードを終了する。

- 【】 監視設定時間が経過するとカメラの電源が切れます。
- 【】 駐車監視モード中に乗車すると衝撃録画やモーション録画、のぞき見検知録画を開始する場合がありますが、それらの録画中に車両のキースイッチを ON にすると録画を停止し、データを消去します。
- 【】 車両のキースイッチを ON にしてドライブモードを開始すると、駐車監視モード中に録画があった場合は「駐車録画があります」の音声が流れます。
- 【】 設定時間内であっても、カメラで設定した電圧値を約 10 分間連続して下回った場合、バッテリー上がりを防ぐため強制的にカメラの電源が切れます。バッテリーの状態に合わせて「バッテリー保護電圧」の値を設定できます。(66、69 ページ参照)
- 【】 カメラが高温になると、温度上昇を抑えるために前後録画から後録画に切り替わったり、録画を停止したりします。夏場に駐車監視モードで撮る場合はできるだけ温度が上がりにくい場所に駐車することをお勧めします。(52 ページ参照)
- 【】 駐車監視モードを停止したいときは、車両キースイッチを ON にしてから「駐車監視」の設定を無効にしてください。(66、69 ページ参照)
- 【】 microSD カードが未挿入またはエラーなどで録画できない場合、車両のキースイッチを OFF になるとバッテリー保護のため強制的にカメラの電源が切れます。
- 【】 駐車監視モードを有効に設定していても、車両キースイッチの OFF 後にカメラのボタン 4 を長押しすると、カメラの電源を切る（駐車監視を止める）ことができます。(21 ページ参照)

## 駐車監視モード時の録画の種類

駐車監視時の 録画モード	録画の種類	内容	使用カメラ	録画種別 (55 ページ参照)
前後録画	衝撃録画	衝撃検知前 10 秒と検知後 30 秒 (合計 40 秒) の映像	フロントカメラ リヤカメラ	駐車録画
	モーション録画	動体検知前 10 秒と検知後 30 秒 (合計 40 秒) の映像		
	のぞき見検知録画	のぞき見検知前 10 秒と検知後 30 秒 (合計 40 秒) の映像		
後録画	衝撃録画	衝撃検知の約 2 秒後から 30 秒の映像	フロントカメラ	駐車録画
	モーション録画	動体検知の約 2 秒後から 30 秒の映像		
	のぞき見検知録画	のぞき見検知の約 2 秒後から 30 秒の映像		
前後録画 + 後録画	前後録画と後録画を組み合わせた駐車監視ができます。			駐車録画

 駐車録画種別の記録可能時間を超えると、古いデータから順に上書きされます。

## ●衝撃録画とは

駐車監視中にカメラのGセンサーが衝撃を検知したときの映像。駐車中に当て逃げやドアパンチされたときなどのシーンを駐車録画種別として記録します。前後録画の場合はフロントカメラ・リヤカメラで、後録画の場合はフロントカメラのみで録画を行います。

## ●モーション録画とは

駐車監視中にカメラで捉えた映像の変化を動体として検知したときの映像。車両周辺の様子を駐車録画種別として記録します。前後録画の場合はフロントカメラ・リヤカメラで、後録画の場合はフロントカメラのみで検知および録画を行います。

 映像の変化を動体として検知するため、以下のような状況も動体として検知します。不要なモーション録画をしないために普段利用する駐車場の周囲に常に動いている物体がないこと、明るさの変化がないことを確認してください。動体検知機能は周囲の状況や環境、気象により左右されます。

- ・照明や日差しの変化
- ・風で揺らぐ樹木や草木、のぼり

 断続的に動体を検知すると頻繁にモーション録画を行うため、駐車録画種別の衝撃録画などの重要なデータが上書きされる可能性があります。

 初期設定では「動体検知」の設定が無効になっています。モーション録画を行う場合は「動体検知」を有効にしてください。(66、69 ページ参照)

## ●のぞき見検知録画とは

駐車監視中に人物の接近を検知したときの映像。車両周辺の様子を駐車録画種別として記録します。前後録画の場合はフロントカメラ・リヤカメラで、後録画の場合はフロントカメラのみで検知および録画を行います。

**【】** カメラが「人物が車両に接近している」と判断した場合に、のぞき見として検知します。明るさなどの周囲の状況・気象条件などにより上手く働かない場合や、人物以外を検知する場合があります。また、人物の服装や映り方、体格などによっては、検出できない場合があります。

**【】** 断続的にのぞき見を検知すると頻繁にのぞき見検知録画を行うため、駐車録画種別の衝撃録画などの重要なデータが上書きされる可能性があります。

**【】** 初期設定では「のぞき見検知」の設定が無効になっています。のぞき見検知録画を行う場合は「のぞき見検知」を有効にしてください。(66、69 ページ参照)

### モーション録画／のぞき見検知録画の使いかたについて

モーション録画は人物や車両、照明の変化など、様々な動体や状況を検知します。自宅のガレージなど周囲に動きのない状況で、あらゆる動体や状況を検知したい場合に使用することをお勧めします。

のぞき見検知は、カメラが人物の接近と判断した場合に検知し、車両や物体などは検知しません。屋外や、周囲の交通量が多い駐車場などでは、モーション録画では頻繁な検知をするおそれがあるため、のぞき見検知録画をお勧めします。

## 駐車監視モードの監視設定時間について

目的に合わせて前後録画／後録画／前後録画 + 後録画が選択できます。また、前後録画を選択した場合は、監視時間を設定できます。(66、69 ページ参照)

駐車監視時の 録画モード		監視設定時間	駐車監視の主な目的
前後録画	フロントカメラ リヤカメラ	0.5 時間／1 時間／3 時間	買い物や用事など外出中の駐車の監視
		6 時間／12 時間	通勤や通学などの駐車中の監視
後録画	フロントカメラ のみ	最大 48 時間	在宅中などの長時間の監視 (2 日以上車に乗らない)
前後録画 + 後録画	フロントカメラ リヤカメラ + フロントカメラ	前後録画 3 時間 + 後録画 24 時間	外出時の短時間監視 + 在宅中の監視
		前後録画 12 時間 + 後録画 6 時間	通勤や通学などの駐車中の監視 + 在宅中の監視

## 降車時非起動時間について

降車時の振動による不要な録画を防ぐために、車両のキースイッチを OFF にしてから 1 分経過後に駐車監視を開始します。ご家族のサポートや荷下ろしなどで降車に時間がかかる場合は、5 分後または 10 分後に変更が可能です。(66、69 ページ参照)

## 乗車時録画キャンセル機能について

駐車監視モード中に乗車すると衝撃録画やモーション録画、のぞき見検知録画を開始する場合がありますが、それらの録画中に車両のキースイッチを ON にすると録画を停止し、データを消去します。

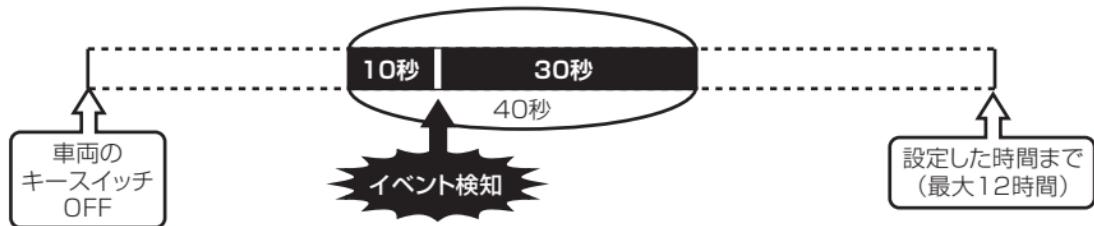
## 前後録画時の衝撃／モーション／のぞき見検知録画

- イベント（衝撃／動体／のぞき見）を検知すると、検知前10秒と検知後30秒を含む40秒の映像を記録します。イベントを連続して検知した場合は映像の記録時間が変わります。
- 衝撃／モーション／のぞき見検知録画後は監視モードに戻ります。

 駐車時の車両の状況に合わせてGセンサーの感度を設定できます。(66、69ページ参照)

 本製品は車両へのすべての衝撃／動体／のぞき見に対する録画を保証するものではありません。

### 衝撃／モーション／のぞき見検知録画 1



## 後録画時の衝撃／モーション／のぞき見検知録画

- イベント（衝撃／動体／のぞき見）を検知すると、検知の約2秒後に30秒の映像を記録します。
- 衝撃／モーション／のぞき見検知録画後は監視モードに戻ります。

【】駐車時の車両の状況に合わせてGセンサーの感度を設定できます。(66、69ページ参照)

【】本製品は車両へのすべての衝撃／動体／のぞき見に対する録画を保証するものではありません。



# 再生と削除

録画した映像は、メインカメラまたはパソコンで再生できます。

## カメラ本体で再生する

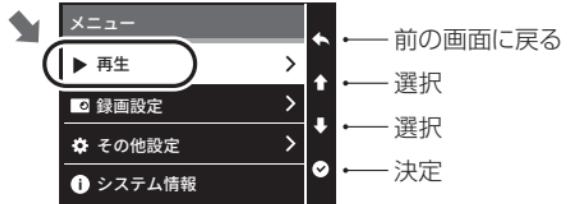
### 1 メニュー画面を表示する。

 録画中の場合は 16 ページを参照してメニュー画面に切り替えてください。

### 2 ボタン 2 / ボタン 3 で「再生」を選択し、ボタン 4 で決定する。

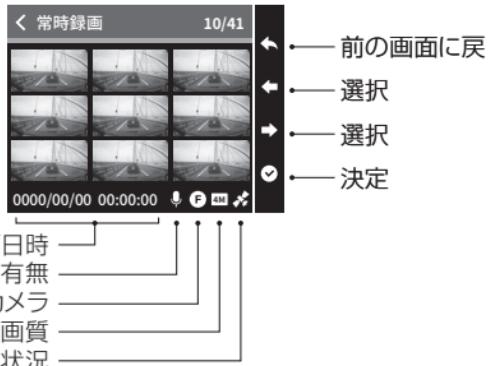
### 3 ボタン 2 / ボタン 3 で再生したい映像が入っている録画種別を選択し、ボタン 4 で決定する。

録画種別	録画の種類
常時録画	ドライブモード中の常時録画
イベント録画	ドライブモード中の衝撃録画 手動録画 後方接近警告録画 停車時後方接近警告録画
駐車録画	駐車監視モード中の衝撃録画 モーション録画 のぞき見検知録画



#### 4 ボタン2／ボタン3で再生したい映像を選択し、ボタン4で決定する。

映像は新しい順に並んでいます。



#### 5 ボタン4を押して再生する。

ボタン3を押すとフロントカメラ映像、またはリヤカメラ映像に切り替えることができます。

映像の細部を確認したいときはパソコンで再生してください。

パソコン用の専用ソフトを使用すると、フロントカメラとリヤカメラの映像の同時再生、地図上の位置、速度、加速度の確認などが行えます。  
(60ページ参照)



### 一時停止

再生中にボタン4を押すと一時停止します。  
再度ボタン4を押すと続きから再生を開始します。

### 再生中



- ← 前の画面に戻る
- ◀ 早戻し
- ▶ 早送り
- 一時停止

### 早戻し／早送り

再生中にボタン2を押すと早戻しします。  
ボタン3を押すと早送りします。

### コマ戻し／コマ送り

一時停止中にボタン2を押すとコマ戻しします。  
ボタン3を押すとコマ送りします。

### 一時停止中

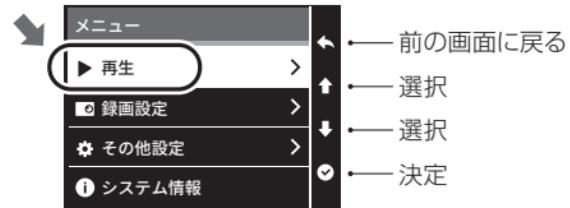


- ← 前の画面に戻る
- ◀ コマ戻し
- ▶ コマ送り
- ▶ 再生

# カメラ本体で削除する

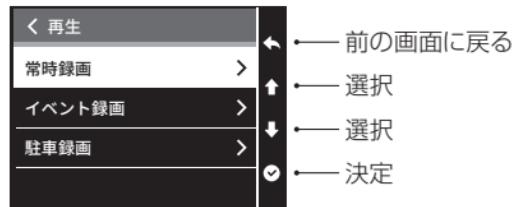
## 1 メニュー画面を表示する。

録画中の場合は 16 ページを参照してメニュー画面に切り替えてください。



## 2 ボタン 2 / ボタン 3 で「再生」を選択し、ボタン 4 で決定する。

## 3 ボタン 2 / ボタン 3 で削除したい映像が入っている録画種別を選択し、ボタン 4 で決定する。



録画種別	録画の種類
常時録画	ドライブモード中の常時録画
イベント録画	ドライブモード中の衝撃録画 手動録画 後方接近警告録画 停車時後方接近警告録画
駐車録画	駐車監視モード中の衝撃録画 モーション録画 のぞき見検知録画

- 4** ボタン2／ボタン3で削除したい映像を選択し、ボタン4で決定する。

【音】 映像は新しい順に並んでいます。

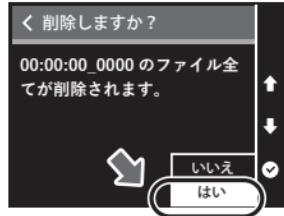


- 5** ボタン2で「削除」を決定する。



- 6** ボタン2／ボタン3で「はい」を選択し、ボタン4で実行する。

【音】 選択したファイルの全力カメラの映像を削除します。



# パソコンで再生する

⚠ パソコンでデータの入れ替え・削除・追加やファイル名の変更はしないこと。

## 1 パソコンに専用ソフトをダウンロードする。

☞ 専用ソフトは無料です。下記ウェブサイトから「DC2000R」の専用ソフトをダウンロードしてください。

☞ パソコンソフトはWindows専用です。Mac用パソコンソフトは提供しておりません。

ダクション360オフィシャルHP内  
「サポート」→「パソコン用ソフトのダウンロード」  
[https://daction.carmate.jp/support/app\\_pc/dc2000r.html](https://daction.carmate.jp/support/app_pc/dc2000r.html)

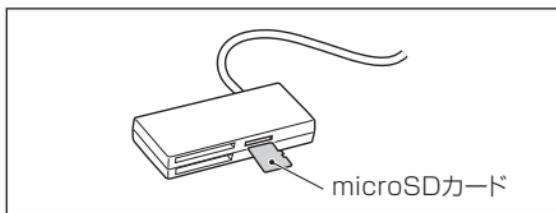
## 2 ダウンロードしたファイルを以下の手順でパソコンにインストールする。

- ① ダウンロードした圧縮ファイル（zipファイル）を解凍する。
- ② フォルダ内にある「DC2000RSetup.msi」を実行する。
- ③ インストール完了後、スタートアップに「DC2000R」が追加されます。



### 3 microSD カードをパソコンに接続する。

メインカメラから microSD カードを取り出し、市販のカードリーダーなどを使ってパソコンに接続する。



カメラの電源を切ってから microSD カードを取り出してください。(21 ページ参照)

カードリーダーなどが、ご使用の microSD カード規格・容量に対応していることを事前に確認してください。

経年劣化など不具合のあるカードリーダーや変換アダプタを使用すると microSD カード内のデータが破損する場合があります。

Windows 以外の機器 (Apple 社の製品や Android のスマートフォンなど) に microSD カードを接続した場合は、必要な動画などのデータはパソコンなどにバックアップしたうえで、カメラに戻すこと。Windows 以外の機器に接続した microSD カードをカメラに差し込むと、フォーマットが必要になる場合があります。フォーマットすると、microSD カード内のデータがすべて消去されます。

**4** パソコン用ソフトを起動後、再生したい映像が入っているフォルダを選択し、カレンダーから再生したい映像の日付を選択する。

 128GB の microSD カードの場合、データの読み込みに時間が掛かります。

 データ転送中にカードリーダーなどを外さないことで。microSD カード内のデータが破損する場合があります。

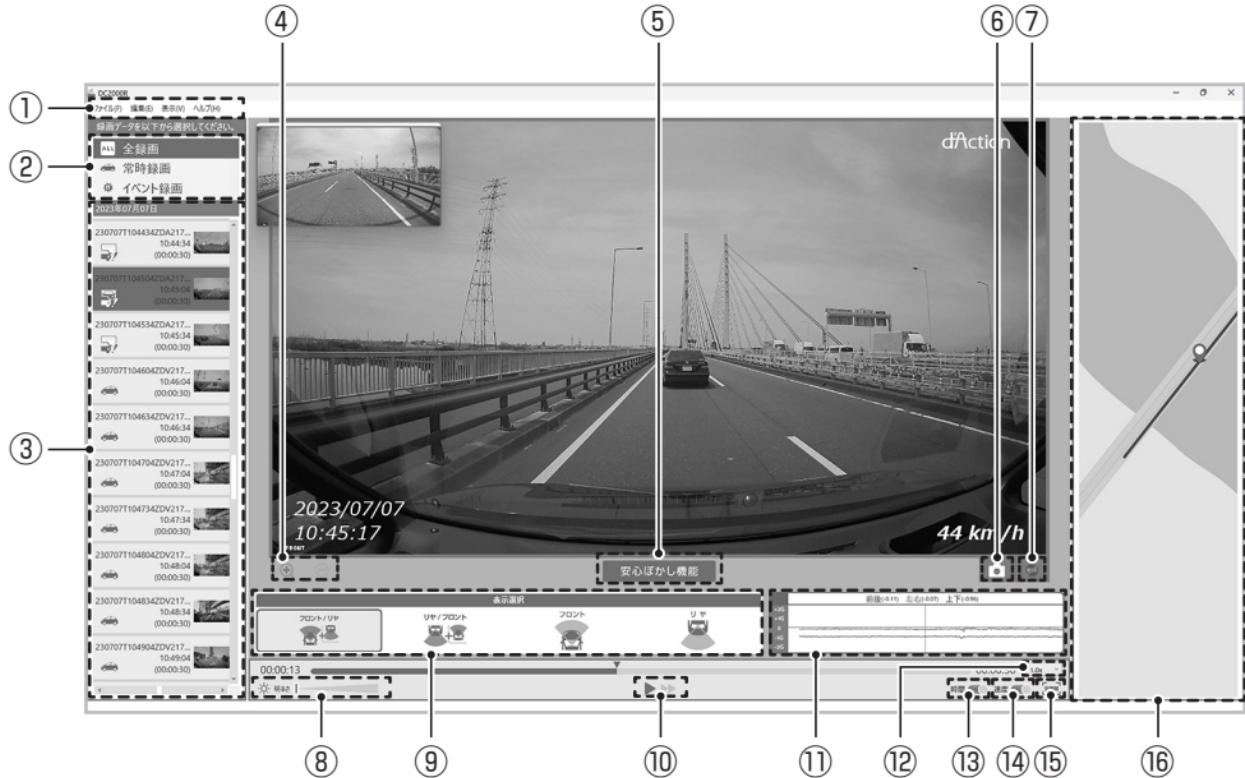


### 再生する場合

再生したい映像を選択し、再生ボタンをクリックする。(63、64 ページ参照)

次のページへつづく

## 専用ソフトの機能

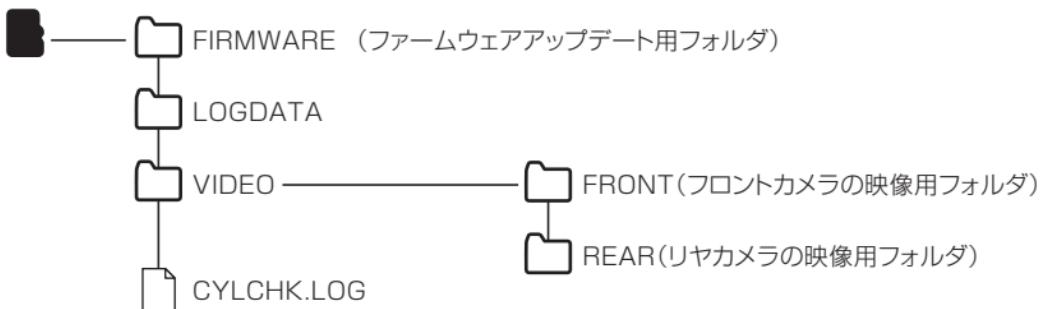


①	メニューバー
②	<p>再生可能なファイルが保存されているフォルダです。</p> <p>全録画 :すべての録画を一覧表示します。          常時録画 :ドライブモードの常時録画を一覧表示します。          イベント録画 :ドライブモードの衝撃録画、手動録画、後方接近警告録画、停車時後方接近警告録画を一覧表示します。          駐車録画 :駐車監視モードの衝撃録画、モーション録画、のぞき見検知録画を一覧表示します。</p>
③	選択したフォルダに保存されている録画を時系列順に表示します。
④	再生する映像を拡大、縮小して表示します。
⑤	マウスのボタンを押しながら動かすことできかし加工ができます。ぼかしの強さも調節できます。
⑥	再生画面に表示している映像をキャプチャしてパソコンに保存します。
⑦	再生画面に表示している映像をスクリーン録画してパソコンに保存します。
⑧	再生する映像の明るさを調節できます。
⑨	<p>再生する映像を切り替えます。</p> <p>フロント／リヤ :フロントカメラの映像を大きく、リヤカメラの映像を小さく表示します。          リヤ／フロント :リヤカメラの映像を大きく、フロントカメラの映像を小さく表示します。          フロント :フロントカメラの映像のみを表示します。          リヤ :リヤカメラの映像のみを表示します。</p>
⑩	再生、停止、早送りします。
⑪	録画時の加速度を表示します。
⑫	再生スピードを調節できます。
⑬	録画時の日時を画面上に表示します。表示される時刻は1秒程度遅れる場合があります。
⑭	録画時の速度を画面上に表示します。(位置情報を取得している場合)
⑮	再生する映像を全画面表示します。
⑯	録画時の位置を地図上に表示します。(位置情報を取得している場合)

## フォルダ構成について

microSD カードは以下のフォルダ構成になっています。

本製品は microSD カードメンテナンスフリーのため、パソコン標準の動画再生ソフトでは、一部のデータしか再生されないことがあります。



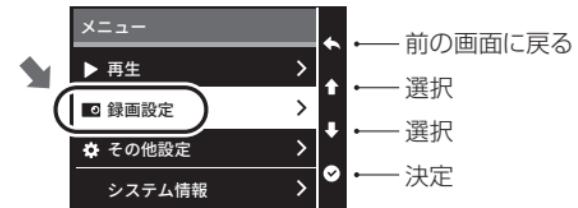
**⚠** microSD カードをパソコンに接続した際、データの入れ替え・削除・追加やファイル名の変更はしないこと。  
microSD カードをカメラに戻したときに、フォーマットが必要になります。

# 各種設定

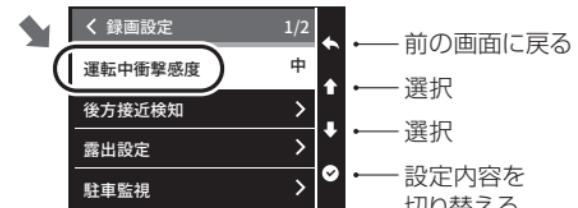
## 設定の変更方法

### 1 メニュー画面を表示する。

 録画中の場合は 16 ページを参照してメニュー画面に切り替えてください。



### 2 ボタン 2 / ボタン 3 で設定を変更したいメニューを選択し、ボタン 4 で決定する。



### 3 ボタン 2 / ボタン 3 で設定を変更したい項目を選択し、ボタン 4 で設定内容を切り替える。

## 録画設定一覧

太字は初期設定を示しています

設定内容の「 (有効) /  (無効)」は、以下の状態を示しています。

その機能／設定などが有効な（選択されている）状態

その機能／設定などが無効な（選択されていない）状態

項目	設定内容		説明
運転中衝撃感度	オフ／最低／低／ <b>中</b> ／高／最高		ドライブモード中の G センサーの衝撃感度を設定できます。
後方接近検知	検知エリア設定 (38 ~ 41 ページ参照)		
	後方接近警告		<p>オン（警告） <input checked="" type="checkbox"/> (有効) / <input type="radio"/> (無効) 「オン（警告）」を有効にすると、録画を行わず画面通知と音声による警告を行います。</p> <p>オン（警告+録画） <input checked="" type="checkbox"/> (有効) / <input type="radio"/> (無効) 「オン（警告 + 録画）」を有効にすると、録画と警告を行います。</p> <p>オフ <input checked="" type="checkbox"/> (有効) / <input type="radio"/> (無効) 「オフ」を有効にすると、後方接近警告は機能しません。</p>
	停車時後方接近警告		<p>オン（警告） <input checked="" type="checkbox"/> (有効) / <input type="radio"/> (無効) 「オン（警告）」を有効にすると、録画を行わず画面通知と音声による警告を行います。</p> <p>オン（警告+録画） <input checked="" type="checkbox"/> (有効) / <input type="radio"/> (無効) 「オン（警告 + 録画）」を有効にすると、録画と警告を行います。</p> <p>オフ <input checked="" type="checkbox"/> (有効) / <input type="radio"/> (無効) 「オフ」を有効にすると、停車時後方接近警告は機能しません。</p>
	露出設定		<p>フロント -3 / -2 / -1 / <b>0</b> / +1 / +2 / +3 メインカメラ、リヤカメラの露出を個別に設定できます。+(プラス)側に設定すると明るい映像で録画し、-(マイナス)側に設定すると暗い映像で録画します。</p> <p>リヤ -3 / -2 / -1 / <b>0</b> / +1 / +2 / +3 リヤガラスがスマートガラスの場合など、調整をお勧めします。</p>
駐車監視		(69 ページ参照)	

項目		設定内容	説明
音声記録		☑ (有効) / ○ (無効)	録画時の音声を記録する/しないを設定できます。
リヤカメラ		☑ (有効) / ○ (無効)	リヤカメラを有効にする/しないを設定できます。リヤカメラが正常に接続されている場合は常に「有効」になります。「無効」に設定すると、リヤカメラが検出できない場合もエラーを表示しません。
ビデオスタンプ	日付時刻	☑ (表示) / ○ (非表示)	microSDカードに保存する録画データ上に日時・速度・GPS座標をそれぞれ表示する/しないを設定できます。
	速度	☑ (表示) / ○ (非表示)	
	GPS座標	☑ (表示) / ○ (非表示)	
表示カメラ選択		F / R / FR	液晶画面に表示する映像を切り替えできます。Fはフロントカメラ、Rはリヤカメラ、FRはフロントカメラとリヤカメラの映像を表示します。

## ●ビデオスタンプについて

microSDカードに保存する録画データ上に日時・速度・GPS座標を印字する機能です。文字が小さいためパソコンで映像を見ると確認できます。パソコンの専用ソフトを使用しなくても日時・速度・GPS座標を確認できるため、例えば万が一の事故の際に専用ソフトを持っていない第三者に映像を提出する際に役立ちます。

ビデオスタンプの設定をONにしていなければ印字されません。また、印字された文字を後から消すことはできません。



## 駐車監視モード設定一覧

太字は初期設定を示しています

項目	設定内容	説明	参考ページ	
駐車監視	有効にする	☑ (有効) / ○ (無効)	駐車監視モードを有効にする (☑) / しない (○) を設定できます。 設定が「有効」でも駐車監視オプションを接続していない場合は機能しません。	47
	衝撃検知感度	低 / 中 / 高	駐車監視モード中の G センサーの衝撃感度を高～低で設定できます。	53、54
	動体検知	☑ (有効) / ○ (無効)	駐車監視モード中の動体検知を有効にする (☑) / しない (○) を設定できます。	49、50
	のぞき見検知	☑ (有効) / ○ (無効)	駐車監視モード中ののぞき見検知を有効にする (☑) / しない (○) を設定できます。	49、51
	降車時 非起動時間	1 分 / 5 分 / 10 分	駐車監視モードを開始するまでの時間を設定できます。	52
	録画モード	前後録画	イベント検知の前 10 秒と後 30 秒をすべてのカメラで録画します。最大 12 時間監視可能です。	49、52
		後録画	イベント検知の約 2 秒後から 30 秒間をフロントカメラのみで録画します。最大 48 時間監視可能です。	
		前後 3 時間 + 後 24 時間	前後録画と後録画を組み合わせた設定ができます。	
	最大有効時間	0.5H / 1H / <b>3H</b> / 6H / 12H	前後録画時の有効時間を設定できます。後録画の場合は最大で 48 時間が有効時間です (変更できません)。	
	バッテリー 保護電圧	11.8V / 12.0V / 12.2V / <b>12.4V</b>	駐車監視モード中のバッテリー保護電圧値を設定できます。設定値を下回った場合、カメラによるバッテリー上がりを防ぐため強制的にカメラの電源が切れます。	48

## その他設定一覧

太字は初期設定を示しています

項目	設定内容		説明	参考ページ
操作音	<input checked="" type="checkbox"/> (あり) / <input type="checkbox"/> (なし)		ボタン操作音のあり／なしを設定できます。	—
再生音量	L / M / H		映像再生時の音量を L (小音量) ~ H (大音量) で設定できます。	—
通知音量	L / M / H		通知音声の音量を L (小音量) ~ H (大音量) で設定できます。	—
液晶表示時間	常時オン / 10 秒 / 1 分 / <b>3 分</b>		液晶画面を表示する時間を設定できます。	—
液晶明るさ調整	暗い / <b>普通</b> / 明るい		液晶画面の明るさを設定できます。	—
日付とタイムゾーン	衛生時間から設定	アジア	日本 / 香港	—
		アメリカ	ワシントン DC / アンカレッジ / ホノルル / アトランタ / ボストン / シカゴ / ダラス / デンバー / デトロイト / ヒューストン / インディアナポリス / ラスベガス / ロサンゼルス /マイアミ /ミネアポリス /ニューオーリンズ / ニューヨーク / フィラデルフィア / フェニックス /ソルトレイクシティ / サンフランシスコ / シアトル	
		DST	オフ / オン	
「日本」以外を選択時にサマータイムのオン / オフを設定できます。				—

 高温時は液晶の明るさが暗くなったり、消灯したりする場合があります。

次のページへつづく

項目		設定内容		説明	参考ページ	
日付とタイムゾーン 0000-00-00 00:00 (年・月・日時:分)	手動設定	アジア	日本／香港	日付と時刻、タイムゾーンすべてを手動で設定できます。  GPS を有効にして GPS などの電波を受信すると、手動で設定した日付・時刻・タイムゾーンは更新されます。	—	
		アメリカ	ワシントン DC／アンカレッジ／ホノルル／アトランタ／ボストン／シカゴ／ダラス／デンバー／デトロイト／ヒューストン／インディアナポリス／ラスベガス／ロサンゼルス／マイアミ／ミネアポリス／ニューオーリンズ／ニューヨーク／フィラデルフィア／フェニックス／ソルトレイクシティ／サンフランシスコ／シアトル			
		DST	オフ／オン			
GPS		有効にする	☑ (有効) / ○ (無効)	GPS を受信する／しないを設定できます。	—	
		速度単位	km/h / MPH	ビデオスタンプに表示する速度の単位を設定できます。		
		日付	YYYY / MM / DD MM / DD / YYYY	日付表記を設定できます。 YYYY / MM / DD は年／月／日、MM / DD / YYYY は月／日／年を意味します。		
言語		日本語／English		表示言語を設定できます。		
フォーマット		いいえ／はい		microSD カードをフォーマットすることができます。	20	
リセット		いいえ／はい		カメラ本体の設定をリセットすることができます。	72	

# カメラのリセット

すべての設定値が初期化されます。

☞ リセットを行っても、microSD カードに記録されたデータは消去されません。

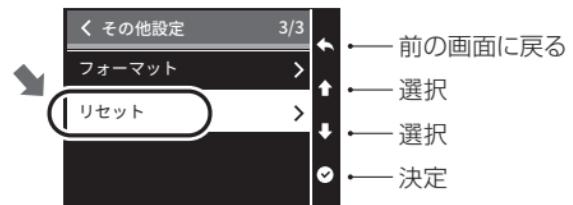
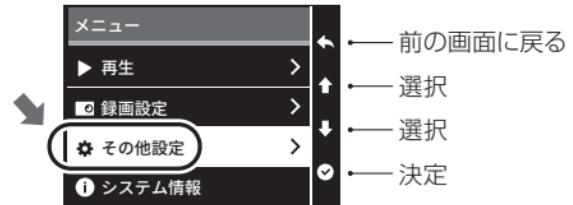
## 1 メニュー画面を表示する。

☞ 録画中の場合は 16 ページを参照して  
メニュー画面に切り替えてください。

## 2 ボタン 2 / ボタン 3 で「その他設定」を選択し、ボタン 4 で決定する。

## 3 ボタン 2 / ボタン 3 で「リセット」を選択し、ボタン 4 で決定する。

## 4 ボタン 2 / ボタン 3 で「はい」を選択し、 ボタン 4 で実行する。



# その他

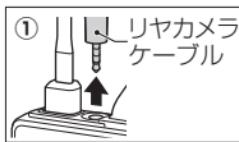
## 事故が起こったときは

事故発生時の録画データなど、重要なデータが上書きされないように、下記の手順でデータを保護してください。

**⚠️ 周囲の安全を確認してから作業すること。**

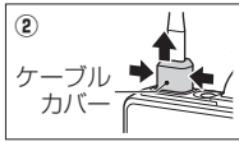
- 1** カメラに接続しているケーブルを以下の手順ですべて抜き、  
メインカメラの録画を停止させる。

① リヤカメラケーブルを抜く



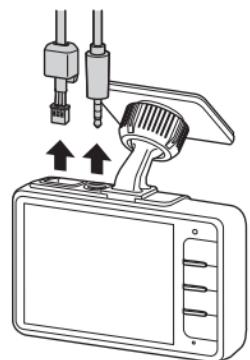
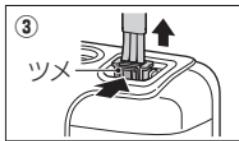
② ケーブルカバーを外す

**⚠️** ケーブルカバーを外すときは、左右からつまみながら引き抜いてください。



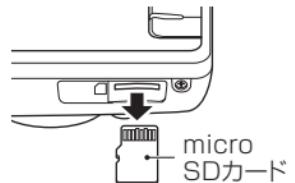
③ 電源ケーブルを抜く

**⚠️** 電源ケーブルのツメをつまみながら引き抜いてください。



- 2** microSDカードを取り出す。(18ページ参照)  
取り出したmicroSDカードの取り扱いにご注意ください。

**⚠️** 万が一に備えて予備のmicroSDカードを常備しておくことをお勧めします。



## ファームウェアのアップデート

仕様変更、機能追加などにより、カメラ本体のファームウェアが更新されます。

d'Action360 のホームページより更新ファームウェアをダウンロードし、microSD カードに入れることでカメラのファームウェアが更新できます。

**【】** ファームウェアアップデートがある場合、専用パソコンソフト起動時と、ご愛用者登録のメールアドレス宛てにおしらせします。重要な更新を含む場合がありますので、必ずご愛用者登録をお願いいたします。

登録がまだの方はこちらから登録をお願いします。



### 1 新しいファームウェアをパソコンにダウンロードする。

**【】** 下記ウェブサイトから「DC2000R」のファームウェアをダウンロードしてください。

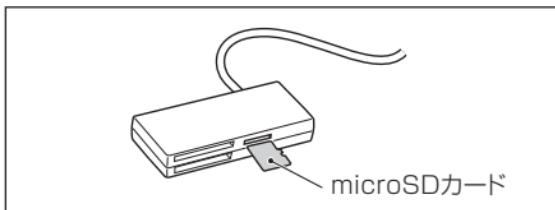
ダクション 360 オフィシャル HP 内  
「サポート」→「ファームウェアダウンロード」  
<https://daction.carmate.jp/support/firmware/dc2000r.html>

次のページへつづく



- 2** ダウンロードした firmware\_dc2000r.zip ファイルを展開（解凍）する。
- 3** microSD カードをパソコンに接続する。

メインカメラから microSD カードを取り出し、市販のカードリーダーなどを使ってパソコンに接続する。



**電** カメラの電源を切ってから microSD カードを取り出してください。(21 ページ参照)

**!** カードリーダーなどが、ご使用の microSD カード規格・容量に対応していることを事前に確認してください。

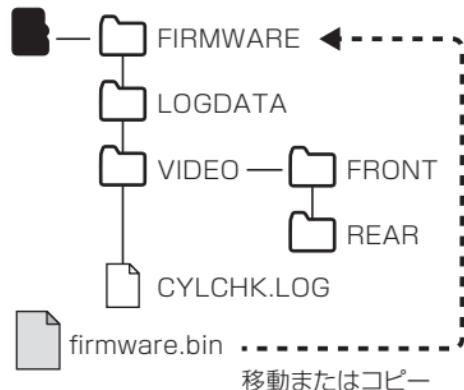
**!** 経年劣化など不具合のあるカードリーダーや変換アダプタを使用すると microSD カード内のデータが破損する場合があります。

**!** Windows 以外の機器（Apple 社の製品や Android のスマートフォンなど）に microSD カードを接続した場合は、必要な動画などのデータはパソコンなどにバックアップしたうえで、カメラに戻すこと。Windows 以外の機器に接続した microSD カードをカメラに差し込むと、フォーマットが必要になる場合があります。フォーマットすると、microSD カード内のデータがすべて消去されます。

- 4** 展開（解凍）したフォルダに入っている  
firmware.bin ファイルを microSD カードの  
FIRMWARE フォルダ内に移動（コピー）する。

⚠ データ転送中にカードリーダーなどを外さないこ  
と。microSD カード内のデータが破損する場合が  
あります。

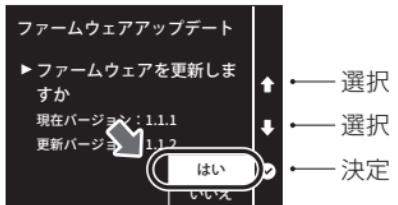
⚠ ファイル名を変更しないでください。アップデート  
されません。



- 5** microSD カードをパソコンから取り出し、メインカメラに挿入する。

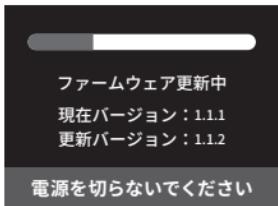
- 6** microSD カードをカメラに挿入した状態で車両のキースイッチを ON にする。

**7** ボタン2／ボタン3で「はい」を選択し、ボタン4で実行する。

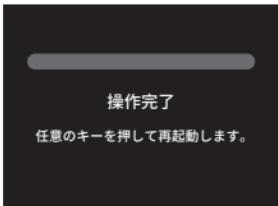


**8** 更新が完了するのを待つ。

**⚠** ファームウェアアップデート中に電源を切らないこと。不具合の原因になります。



**9** ボタン1～ボタン4のいずれかを押す。



**10** 完了後、カメラが自動で再起動します。

**☞** メニュー画面の「その他設定」にある「システム情報」でファームウェアが更新されたことを確認してください（86ページ参照）。更新できなかかった場合**4**からやり直してください。

## 最大記録可能時間（目安）

 録画種別ごとの記録可能時間を超えると古いデータから順に上書きされます。必要なデータはパソコンなどにバックアップしてください。

録画種別（55 ページ参照）	32GB (同梱)	64GB	128GB
常時録画	約 40 分	約 82 分	約 165 分
イベント録画	約 26 分	約 53 分	約 107 分
駐車録画	約 7 分	約 15 分	約 31 分

## 故障かな?と思ったら

故障と思われる症状がある場合、下記の対処方法を試してください。

下記に記載の項目と合わせて 85 ページを参照してください。

症状／状況	原因／説明	対処方法	参考ページ
電源が入らない。	電源ケーブルやプラグが正しく接続されていない。	電源ケーブルやプラグを正しく接続してください。	22
	本製品の付属品以外のケーブルやオプション品を使用している。	本製品の付属品や本製品が指定するオプション品を使用してください。	13、14
	カメラの動作温度範囲を超えている。動作温度範囲を超えると、カメラの破壊を防ぐため、動作を停止します。	カメラが動作温度範囲に戻ってから使用してください。	84
	(駐車監視ケーブルを取り付けている場合) 駐車監視ケーブルが正しく接続、配線されていない。	駐車監視ケーブルの配線を確認してください。	—
「リヤカメラ異常 接続を確認してください」という表示が出る。	リヤカメラケーブルが正しく接続されていない。	リヤカメラケーブルを正しく接続してください。	22
リヤカメラの映像に切り替わらない。 リヤカメラの映像が録画されない。	録画設定でリヤカメラが「無効」になっている。	録画設定でリヤカメラを「有効」に設定してください。	66、68

症状／状況	原因／説明	対処方法	参考ページ
液晶画面が消えてしまう。	初期設定では液晶表示時間は3分です。カメラの起動後3分で液晶画面が消えます。	その他設定で「液晶表示時間」を設定し直してください。	66、70
	高温の状況では製品保護のため、液晶画面の表示時間が短くなることがあります。	カメラの温度が下がってから操作してください。	—
時刻がおかしい。	日付とタイムゾーンが正しく設定されていない。	その他設定「日付とタイムゾーン」で正しく設定し直してください。 DST（サマータイム）がオフになっていることを確認してください。	66、70、71
	屋内やトンネル内ではGPSなどを受信できません。また、GPSなどの電波は周囲の状況や地理的要因によって、受信するまでに数十秒から数分かかる場合があります。	障害物のない見通しの良い場所でGPSなどの電波を受信できるか確認してください。	—
位置情報や車両速度を取得できない。	屋内やトンネル内ではGPSなどを受信できません。また、GPSなどの電波は周囲の状況や地理的要因によって、受信するまでに数十秒から数分かかる場合があります。	障害物のない見通しの良い場所でGPSなどの電波を受信できるか確認してください。	—
衝撃録画が記録されない。	センサーが衝撃を検知しないと衝撃録画を開始しません。衝撃感度が低く設定されている可能性があります。	録画設定の「運転中衝撃感度」と駐車監視の「衝撃検知感度」を設定し直してください。	66、67、69
衝撃がないのに衝撃録画を開始してしまう。	センサーの衝撃感度が高く設定されている可能性があります。	録画設定の「運転中衝撃感度」と駐車監視の「衝撃検知感度」を設定し直してください。	66、67、69

症状／状況	原因／説明	対処方法	参考ページ
録画したデータが消えている。	録画種別ごとの記録可能時間を超えると、古いデータから順に消去されます。	必要なデータはパソコンなどにバックアップしてください。	78
再生時に音声が出ない。	録画設定で「音声記録」が「無効」になっている。	録画設定で「音声記録」を「有効」にしてください。	66、68
	その他設定で「再生音量」が小さくなっている。	その他設定で「再生音量」を設定し直してください。	66、70
パソコンで microSD カードを読み込んで録画データを確認した後、カメラにカードを戻したらエラーが表示され録画できなくなつた。	市販のカードリーダーや変換アダプターの経年劣化などによる不具合により microSD カード内のデータが破損した可能性があります。	カメラ本体で microSD カードをフォーマットしてください。 それでも改善しない場合、新しい microSD カードに交換してください。	—
モーション録画の映像に動きがない。	車両周辺の光の変化なども動体として検知して録画するため、再生画面では動体を確認できない（確認しづらい）場合があります。	—	—
のぞき見検知録画の映像に人物が映っていない。	カメラが「人物が車両に接近している」と判断した場合に、のぞき見として検知します。明るさなどの周囲の状況・気象条件などにより上手く働かない場合や、人物以外を検知する場合があります。	—	—

症状／状況	原因／説明	対処方法	参考ページ
駐車監視モード中の衝撃 録画が消えている。	microSD カード内の駐車録画種別が いっぱいになると古いデータから順に 上書きされます。同じ録画種別に記録 されるモーション録画やのぞき見検知 録画で上書きされている可能性があり ます。	動体検知とのぞき見検知を「無効」 にしてください。	66、 69
駐車監視時に 設定時間よりも早く 監視が終了する。	カメラの電圧監機能が作動した。	設定値の変更、あるいは車両のバッテリー交換や充電をお試しください。	48、 66、 69
	正しい常時電源線に接続しないと車両 のキースイッチ OFF 後、一定の時間が 経過した時やドアの開閉で車両の電 圧が変化し、駐車監視オプションが正 しく機能しません。一部の車種は、常 時電源線の判別が難しく、誤った線に 接続してしまうことがあります。	駐車監視オプションを接続する常時 電源線を見直してください。	10
駐車監視時にドアを開閉 すると d'Action のロゴが 表示される。	正しい常時電源線に接続しないと車両 のキースイッチ OFF 後、一定の時間が 経過した時やドアの開閉で車両の電 圧が変化し、駐車監視オプションが正 しく機能しません。一部の車種は、常 時電源線の判別が難しく、誤った線に 接続してしまうことがあります。	駐車監視オプションを接続する常時 電源線を見直してください。	10

## 仕様

		メインカメラ	リヤカメラ
撮像素子		1/2.7型フルカラー CMOS センサー	1/2.7型フルカラー CMOS センサー
記録画素数		約 368 万画素 2560×1440	約 200 万画素 FHD 1920×1080
視野角	水平	135°	135°
	垂直	68°	68°
	対角	171°	171°
F 値		2.0	2.0
フレーム レート	ドライブモード時	27.5fps	27.5fps
	駐車監視モード時	5.2fps	5.2fps
画像補正機能		HDR／WDR	HDR

記録方式	ドライブモード時：常時録画、衝撃録画、手動録画、後方接近警告録画、 停車時後方接近警告録画 駐車監視モード時（別売のオプション品が必要）：衝撃録画、モーション録画、のぞき見検知録画
録画ファイル単位	約 30 秒
ファイル形式	MOV (H.264)
GPS	あり
G センサー	あり
音声記録	あり（有効／無効の設定可能）

ノイズ対策	対応済み
対応記録媒体	同梱の 32GB microSD カード（品番：DCP31） または当社オプション品（品番 DC3：32GB / 品番 DC4：64GB / 品番 DC5：128GB）
記録映像再生方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインカメラ本体</li> <li>・DC2000R 専用ソフト（Windows 専用）</li> </ul> <p>専用ソフトを使用するには、対応したパソコンが必要です。</p> <p>●パソコン 動作確認 OS：Windows10、11</p>
液晶仕様	2.7インチ フルカラー TFT 液晶
外形寸法（マウント装着時）	メインカメラ：H90mm × W87mm × D33mm リヤカメラ：H43mm × W39mm × D26mm
重量（マウント装着時）	メインカメラ：116g リヤカメラ：38g
電源電圧	DC12V
最大消費電流	500mA (DC12V)
動作温度範囲	-10°C ~ +60°C
保証期間	3年間



動作確認済み端末の最新情報は、ウェブサイトからご確認ください。

## お問い合わせ

下記のコンテンツから各種情報をご確認いただけます。

 本製品（DC2000R-AB）の使いかたやカメラの動作、オプション品、パーツなどは「DC2000R」と同様です。ただし、本製品と DC2000R は記録画素数が異なります。

製品の使いかたを確認したい	ダクション 360 YouTube チャンネル	<a href="https://www.youtube.com/channel/UCkpMOivKZKP_x1uyLgRJgUg">https://www.youtube.com/channel/UCkpMOivKZKP_x1uyLgRJgUg</a>	
使いかたや カメラの動作などで わからないことがある	ダクション 360 ホームページ 「サポート」→FAQ	<a href="https://daction.carmate.jp/support/faq/dc2000r.html">https://daction.carmate.jp/support/faq/dc2000r.html</a>	
	カーメイト AI チャットボット	LINE で 24 時間いつでも、どこでも 気軽にお問い合わせいただけます。 ※ LINE アプリのインストールが必要です。	
オプション品のご購入	カーメイト 公式オンラインストア 本店	<a href="https://ps.carmate.co.jp/c/car/camera">https://ps.carmate.co.jp/c/car/camera</a>	
パーツのご購入		<a href="https://ps.carmate.co.jp/c/serviceparts/sp-360">https://ps.carmate.co.jp/c/serviceparts/sp-360</a>	

品番 DC2000R-AB

品名 ダクション D AB

ファームウェア Ver.1.1.1 (2024年8月現在)

### ファームウェアの確認方法

オープニング画面、またはメニュー画面の「その他設定」にある「システム情報」から確認できます。

【】 本製品のオープニング画面およびメニュー画面では、ファームウェアバージョンの末尾に「X」が付きます。



- 他社の登録商標については、カーメイトウェブサイトをご確認ください。

<https://www.carmate.co.jp/trademark/>



# 株式会社 カーメイト

〒171-0051 東京都豊島区長崎 5-33-11

お問い合わせ ▶ カーメイトWebサイト【お客様サポート】



- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 本製品の誤った取扱いや改造した場合での事故について、当社はその責任を一切負いません。